

令和3年度土幌町予算審査特別委員会

令和3年3月10日

1 事件

- 日程番号1 議案第30号 令和3年度土幌町一般会計予算
日程番号2 議案第31号 令和3年度土幌町国民健康保険事業特別会計予算
日程番号3 議案第32号 令和3年度土幌町後期高齢者医療事業特別会計予算
日程番号4 議案第33号 令和3年度土幌町介護保険事業特別会計予算
日程番号5 議案第34号 令和3年度土幌町介護サービス事業特別会計予算
日程番号6 議案第35号 令和3年度土幌町簡易水道事業特別会計予算
日程番号7 議案第36号 令和3年度土幌町公共下水道事業特別会計予算
日程番号8 議案第37号 令和3年度土幌町国民健康保険病院事業会計予算

2 出席委員（12名）

加藤 宏一 河口 和吉 大西 米明 伊藤 健蔵 清水 秀雄
牧野 圭司 曾我 弘美 中村 貢 森本 真隆 大野 明
矢坂 賢哉 秋間 紘一

3 欠席委員（0名）

4 説明のため出席した者

町長 小林 康雄 教育長 堀江 博文
代表監査委員 佐藤 宣光

5 町長の委任を受けて出席した者

副町長 高木 康弘 総務企画課長 亀野 倫生
会計管理者 上野 清子 町民課長 藤内 和三
保健福祉課長 藤村 延 健康介護担当課長 三島 裕子
産業振興課長 西野 孝典 建設課長 増田 優治
道路維持担当課長 佐藤 英明 建設課施設担当課長 田中 敏博
子ども課長 角田 淳二 特老施設長 佐藤 慶岩
病院事務長 土屋 仁志 消防課長 土屋 政勝
ほか、関係職員

6 教育委員会教育長の委任を受けて出席した者

参事 川口 久 教育課長 小野寺 務
給食センター所長 齋藤 英雄 高校事務長 藤井 由美
ほか、関係職員

7 農業委員会会長の委任を受けて出席した者

事務局長 三島 重浩
ほか、関係職員

8 職務のため出席した事務局職員

事務局長 矢野 秀樹 総務係長 猪狩 賢明

会 議 の 経 過

(午前10時00分)

説 明	加 藤 委 員 長	おはようございます。昨日に続き予算審査特別委員会を開きます。 本日は、 民生費、衛生費 についてから始めます。 説明を求めます。保健福祉課長。
	藤村保健 福祉課長	保健福祉課長、藤村からご説明いたしますので、51ページをお開き 願います。 3款1項1目社会福祉総務費は、前年度対比289万9,000円増の8,67 1万3,000円を計上しております。主な要因は工事請負費の増額で、総 合福祉センター電話交換機の更新のための費用を計上したところによ ります。1節から4節の人件費では人事異動に伴う23万3,000円の減、 8節旅費から53ページ、13節使用料及び賃借料までは前年度の実績に 応じて計上、14節工事請負費は先ほど説明したとおり、病院に設置し てある電話交換機が20年を経過し、保守点検ができない機種となるこ とから、病院と同時に更新が必要なための経費410万2,000円を計上し ました。18節負担金補助及び交付金では、新型コロナウイルスの感染 に係る町民不安を解消するための今年2月から開始したPCR検査を 今年度も継続するため90万円を新たに計上、19節は前年度の実績に応 じて記載のとおり計上しております。51ページに戻っていただきまし て、特定財源につきましては特別児童扶養手当事務取扱委託料など、 それぞれ記載のとおり見込むものでございます。 以上で説明を終わります。
	加 藤 委 員 長 藤 内 町民課長	町民課長。 町民課長、藤内よりご説明をいたします。 53ページ下段、2目国民年金費は、予算額855万9,000円、前年度対 比53万2,000円を減額するもので、その主な要因は人事異動に伴う2 節給料から4節共済費の減によるものです。10節需用費は、前年度と 同額を計上しています。特定財源につきましては、国民年金事務委託 金を記載のとおり見込んでおります。 以上で説明を終わります。
加 藤 委 員 長	保健福祉課長。	

藤村保健
福祉課長 保健福祉課長、藤村からご説明いたしますので、54ページをお開き
ください。

3目障がい者福祉費は、前年度対比1,698万6,000円増の3億496万5,000円を計上、主な要因は19節扶助費の増額によるものです。8節から18節は前年度の実績に応じて計上、19節扶助費では自立支援介護・訓練等給付費は利用者の増加により2億3,500万円を計上、ほかの項目は前年度の実績を参考におおむね前年度同様の額を計上しております。特定財源につきましては、国の障害者介護給付費負担金1億951万2,000円のほか、それぞれ記載のとおり見込むものでございます。

54ページに移りまして、4目老人福祉費は、前年度対比396万4,000円増の2,095万6,000円を計上、主な要因は後ほど説明いたします。12節以外の節は、前年度の実績により、それぞれ計上しました。12節委託料の増額要因は、例年9月に補正増額して対応しておりました高齢者冬期就労対策事業を今年度は220万円を当初予算に計上しました。また、愛風会のデイサービス事業の利用促進を図るため、リハビリ的な要素を取り入れた運動を負荷するアクティブライフフィットネス事業委託料として189万8,000円を新たに計上、デイサービス利用者に軽い運動プログラムを提供して愛風会の介護サービス事業の魅力を向上できるように、町外の事業者へ委託する計画でございます。特定財源につきましては、老人ホーム入所者措置費用負担金141万円など、記載のとおりでございます。

以上で説明を終わります。

加 藤
委 員 長 総務企画課長。

亀野総務
企画課長 総務企画課長、亀野よりご説明を申し上げます。

5目老人福祉施設費は、特別養護老人ホームの介護サービス事業特別会計への繰出金として介護サービス事業繰出金を前年度対比1,407万4,000円減の7,780万3,000円、施設備品購入費用及び空調設備整備工事に前年度対比8,640万円増の9,450万円、合わせまして前年度対比7,232万6,000円増の1億7,230万3,000円を計上したところでございます。特定財源につきましては、地方創生臨時交付金2,100万円、愛のまち建設基金繰入金6,165万9,000円を充当するものでございます。

以上で説明を終わります。

加 藤
委 員 長 保健福祉課長。

藤村保健
福祉課長 保健福祉課長、藤村からご説明いたします。

6目後期高齢者医療費は、前年度対比292万7,000円減の1億163万3,000円を計上、主な要因は給付見込みの減額によるものでございます。18節負担金補助及び交付金は、療養給付費負担金を前年度対比187万1,000円の減の給付を見込み、6,737万2,000円を、56ページに移りまし

て、27節繰出金は合わせて前年度対比105万6,000円の減の3,426万1,000円を計上しました。これは後期高齢者医療事業特別会計への繰出金で、それぞれに充当するものです。55ページに戻っていただきまして、特定財源は保険基盤安定負担金1,745万5,000円を見込むものです。なお、予算説明資料18ページに後期高齢者医療の費用負担として一般会計分の会計の流れも記載しておりますので、ご参照願います。

56ページをお開きください。7目国民健康保険費は、前年度対比78万2,000円減の6,286万6,000円で、国民健康保険制度のルールに基づく特別会計への繰出金でそれぞれ充当するものです。特定財源としましては、保険基盤安定負担金の保険者支援分及び保険税軽減分としてそれぞれ記載のとおり見込むものです。

8目介護福祉費は、前年度対比1,084万1,000円減の2,721万8,000円を計上、主な要因は人事異動によるものでございます。1節から4節共済費までの人件費は前年度対比790万4,000円減の1,891万1,000円を計上、12節から57ページの18節までは前年度の実績に応じてそれぞれ額を計上しております。

9目介護保険費は、前年度対比871万5,000円増の1億2,904万2,000円で、主な要因は27節繰出金の増額によるものです。10節から19節は実績に応じて計上、27節繰出金では前年度対比834万2,000円増の1億2,657万4,000円を計上、記載の事業に対する負担が増額したことによるもので、介護保険制度のルールに基づく特別会計への繰出金で、それぞれに充当するものです。特定財源につきましては、低所得者保険料軽減負担金など、記載のとおり見込んでいます。

10目居宅介護支援事業費は、前年度対比239万5,000円減の2,460万7,000円を計上、主な要因は人事異動による人件費の減額によるもので、58ページに移りまして、18節負担金補助及び交付金まではおおむね前年度同様の額を計上しております。57ページに戻っていただきまして、特定財源につきましては居宅介護サービス計画収入など、記載のとおり見込んでいます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
小野寺
教育課長

教育課長。

教育課長、小野寺から59ページ、2項1目児童福祉総務費のうち、教育課、学童保育所に関わる分についてご説明いたします。

本年度6,948万1,000円で、前年度対比660万3,000円の増となっておりますが、教育課分の増の主な要因は、新型コロナウイルス感染症対策としまして国の補助金を活用して対策用消耗品を120万円計上、学童保育所を開設している3か所、土幌、中土幌、上居辺において委託料のうち人件費が増額見込みのため48万7,000円を増額したもので、そのほかは前年度と同額を計上しております。特定財源の内訳は、国

及び道補助金のほか、学童保育所使用料などを記載のとおり見込んでおります。

以上で教育課分の説明を終わります。

加 藤
委 員 長

子ども課長。

角 田
子 ども
課 長

1目児童福祉総務費、残りの費用について子ども課長、角田からご説明します。

子ども課所管に係る予算は4,777万5,000円で、対前年度比505万8,000円の増で、主な要因として、12節、中土幌保育園運営費委託料では3歳未満児の増加予定に伴い383万円増の4,580万3,000円を計上、18節負担金補助及び交付金では新たに一時預かり事業補助金として11万4,000円を、中土幌保育園主食事業助成金として16万6,000円を計上しました。一時預かり事業助成金は、町外の幼稚園に通園する町内在住の児童の一時預かり事業の利用に伴う経費の補助であり、中土幌保育園主食事業助成金については、御飯の提供を令和3年度から3か年、試験的に行い、原材料費相当額に対して助成するものであります。19節扶助費の町外施設型給付費は、町内に住所を有する児童が町外の幼稚園へ通園することから施設へ給付する費用で、前年より1名増で、対前年度比69万円増の135万3,000円を計上しております。特定財源につきましては、国、道の中土幌保育園運営費負担金ほか、記載のとおりを見込んでおります。

2目認定こども園費については、本年度予算額2億3,619万4,000円で、対前年度比1,746万1,000円の増額となっております。主な要因は、職員人件費、修繕費、給食委託料の増によるものです。1節報酬から4節共済費の人件費の合計は1,666万1,000円の増の1億9,916万5,000円で、主な要因は3歳未満児の増加に伴う保育教諭の増員によるものであります。60ページをお開き願います。10節需用費のうち消耗品費は、新型コロナウイルス感染症対策で対前年度比20万円増の130万円、修繕料に午睡室の畳の表替えで対前年度比107万円増の185万円、医薬材料費も新型コロナウイルス対策として対前年度比14万6,000円増の21万7,000円、そのほかはほぼ前年同様の額を計上しております。12節委託料の認定こども園給食賄い委託料は、人件費等の増で対前年度比72万8,000円増の1,938万7,000円、新たにストーブ分解掃除委託料として26万9,000円を計上、そのほかはほぼ前年同様の額を計上しております。61ページをお開き願います。13節使用料及び賃借料の自動車借り上げ料では、新型コロナウイルス対策として密を避けるためバス遠足のバスの台数を増やしたことに伴い、対前年度比11万9,000円増の23万8,000円を計上し、そのほかはほぼ前年同様の額を計上しました。14節工事請負費では、新たに火災通報装置更新工事として25万3,000円を計上しました。17節

備品購入費では、FF式ストーブ及び冷凍庫の更新等により、対前年度比66万円増の176万円を計上しました。その他の節においては、前年実績等を考慮し、計上しております。次に、特定財源ですが、59ページに戻っていただきまして、2号、3号認定子ども使用料と道からの交付金等を記載のとおり見込んでいます。

61ページをお開き願います。3目へき地保育所費については、本年度予算額5,788万5,000円で、対前年度比40万8,000円の増額となっています。主な要因は、需用費と工事費の増によるものです。62ページをお開き願います。10節需用費は、新型コロナウイルス感染症対策として消耗品費に対前年度比20万円増の44万7,000円、医薬材料費も同じく対前年度比20万円増の25万2,000円、そのほかはほぼ前年同様の額を計上しました。14節工事請負費のへき地園庭遊具移設工事は、川西及び上居辺保育所の既存の園庭遊具の劣化により、旧土幌小学校施設より移設設置工事費として80万円を計上、そのほかの節においては前年実績等を考慮し、計上しております。次に、特定財源ですが、61ページに戻っていただきまして、主な財源は前年と同様にへき地保育所使用料、国、道からの特例地域型保育給付費負担金及び太陽光発電電力売払収入等を記載のとおり見込んでおります。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
藤村保健
福祉課長

保健福祉課長。

保健福祉課長、藤村から63ページ、児童手当費をご説明いたしますので、御覧ください。

4目児童手当費は、前年度対比500万円減の8,500万円を計上、児童の減少による減額となっております。特定財源につきましては、児童手当負担金をルールに基づき、記載のとおり見込んでいるところです。

加藤
委員長
角田
子ども
課長

子ども課長。

5目子育て支援推進費、残りの費用について子ども課長、角田から説明いたします。

子ども課所管に関わる予算は、対前年度比43万8,000円の増の2,379万7,000円となっています。10節需用費は、新型コロナウイルス感染症対策として消耗品費に対前年度比18万5,000円増の26万5,000円、医薬材料費に18万5,000円を計上、その他はほぼ前年同様の額を計上しました。64ページをお開き願います。12節委託料では、新たに子育て短期支援事業として32万2,000円を計上しました。この事業は、保護者の疾病や育児疲れ等の理由により児童の養育が一時的に困難になった場合に児童養護施設で一時的に預かる事業であります。そのほかは、ほぼ前年同様の額を計上しました。18節負担金補助及び交付金では、佐倉へき地保育所幼児交通費支援事業助成金は、前年より2名減で、対前年

度比14万4,000円減の7万2,000円を計上、そのほかの節においては前年実績等を考慮しております。次に、特定財源ですが、63ページに戻っていただきまして、国及び道からの地域子ども・子育て支援事業費を記載のとおり見込んでおります。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
藤村保健
福祉課長

保健福祉課長。

保健福祉課長、藤村のほうから5目子育て支援推進費について保健福祉課の分を説明いたします。

前年度対比802万8,000円増の5,276万5,000円で、増額の主な要因はこどもの育ち応援特別給付金を創設したことによるものでございます。初めに、2節から4節は人件費を前年度ほぼ同額を計上、7節報償費では新たに産前産後ケア事業専門相談員の配置のため20万4,000円を計上しました。この事業は、産後の女性が授乳相談や体調の不調、乳児の育児など様々な不安を抱えており、専門の助産師の相談を毎月2回、子育て世代包括支援センターで開設するための経費でございます。10節需用費から64ページに移りまして17節備品購入費までは、前年度の実績に応じて計上しました。18節負担金補助及び交付金では、昨年度町独自の支援制度を創設して補正予算で対応した新型コロナウイルス感染症拡大により経済的に困窮していると思われる独り親家庭等の支援のため、今年度も引き続き事業を継続するため、予算900万円を新たに計上しました。65ページに移りまして、19節扶助費でも、既存の高等学校等修学援助金制度に独り親家庭等の支援のため新たに高等学校に入学する子供のいる世帯に対し10万円を給付するため、50万円を計上、不妊治療扶助費、不育症治療費扶助費は前年度と同様の額を計上しております。63ページに戻っていただきまして、特定財源につきましてもは地方創生臨時交付金など、記載のとおり見込んでいくところです。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
藤内
町民課長

町民課長。

町民課長、藤内より5目子育て支援推進費の町民課所管事業についてご説明いたします。

7節報償費、子育て支援祝金として予算額500万円、前年度と同額を計上しています。交付対象予定人数は、出生で40人、新入学で14人となっています。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長

保健福祉課長。

藤村保健 福祉課長	<p>保健福祉課長、藤村から65ページ、6目乳幼児等医療費を説明いたします。御覧ください。</p> <p>6目乳幼児等医療費は、前年度とほぼ同額の2,247万5,000円を計上し、特定財源につきましては乳幼児等医療費助成事業補助金ほか、記載のとおり見込むものです。</p> <p>7目未熟児養育医療費は、前年度同額の108万2,000円を計上、特定財源につきましては国及び道からの未熟児医療費負担金と自己負担額としての徴収金をそれぞれ記載のとおり見込んでいるところです。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
加 藤 委員長 小野寺 こども 発達相談 センター 事務長	<p>こども発達相談センター事務長。</p> <p>こども発達相談センター事務長、小野寺から8目こども発達相談センター費についてご説明いたします。</p> <p>本年度4,128万4,000円で、前年度対比183万1,000円の増額で、主な要因は人事異動による人件費に関わる予算の減額と施設のバリアフリー化に伴う改修及びエアコン設置工事による増額となったためでございます。1節報酬は会計年度任用職員5名分、2節給料から4節共済費までは職員3名と会計年度任用職員5名分の人件費等を計上、66ページに移りまして、10節需用費の修繕料では網戸の修繕に57万円を計上、14節工事請負費は先ほど申しあげました施設のバリアフリー化に伴う改修及びエアコン設置工事費に490万円を計上、その他の節につきましては前年度の実績等に基づき計上したところでございます。65ページに戻りまして、特定財源の内訳は障害児通所支援収入など、記載のとおり見込んでおります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
加 藤 委員長 三島保健 福祉課 健康介護 担当課長	<p>健康介護担当課長。</p> <p>保健福祉課健康介護担当課長、三島よりご説明いたします。</p> <p>67ページ、4款1項1目保健衛生総務費は、対前年度比277万2,000円増の5,907万1,000円を計上しております。1節報酬と3節職員手当等につきましては、子育て世代包括支援センターでの子育て相談及び児の発達相談業務の強化を図るため、今年度新たに設置する特別支援専門員と保健師の報酬197万2,000円と職員手当40万5,000円を計上しております。68ページに移りまして、12節委託料では介護予防との一体的保健事業としてフレイル予防に着目した家庭訪問事業を保健師などの専門職に委託するため56万5,000円を計上、18節負担金補助及び交付金では帯広厚生病院運営費補助金等を前年度比29万9,000円増、節全体では632万4,000円計上、20節貸付金は看護師等修学資金貸付金は令和2年度からの貸付者2名と新規2名を見込み、4名分、前年度と同額の480万円を計上し、節全体では660万円を計上しております。</p>

他の節につきましては、おおむね前年度同様の額を計上しております。67ページに戻っていただき、特定財源につきましては介護予防と一体的保健事業受託金284万5,000円ほか、記載のとおり見込んでいます。

68ページをお開きください。2目予防費は、対前年度比204万2,000円増の3,910万9,000円を計上しております。増額の主なものは、10節需用費、69ページに移っていただいて、12節委託料で予防接種台帳改修に伴う健康管理システム改修によるもので前年度比218万1,000円増の3,560万6,000円を計上、減額の主なものとしては13節使用料及び賃借料で体成分分析器の使用料を国保ヘルスアップ事業で対応することになり、国保会計に組替えしたため、前年度比26万2,000円減の24万7,000円を計上しております。他の節につきましては、おおむね前年度同様の額を計上しております。68ページに戻っていただいて、特定財源につきましては介護予防と一体的保健事業受託金150万1,000円ほか、記載のとおり見込んでいます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
藤内
町民課長

町民課長。

町民課長、藤内よりご説明をいたします。

69ページ下段、3目環境衛生費は、予算額3,105万1,000円で、前年度対比127万8,000円を増額するもので、その主な要因は10節需用費の修繕料で土幌聖苑の火葬炉2基のうち2号炉の送風機等の交換及び修繕と遺族待合室の畳及び浄化槽の修繕等が終了しましたが、引き続き定期的な修繕として1号炉の炉内セラミック交換及び送風機の交換等により280万円を計上しております。70ページ、12節委託料の各種生活環境業務処理委託料については過年度の実績等を考慮し、40万円を減額、18節負担金補助及び交付金では合併処理浄化槽設置事業助成金300万円を新規計上しております。合併処理浄化槽設置事業については、これまで浄化槽の設置申請は建設課、助成金の申請は総務企画課、浄化槽の法定検査関係は町民課と窓口が複数に分かれ、町民から分かりづらいとの意見もありましたので、2款総務費、1項7目環境対策費から移行し、設置申請、助成金の申請、法定検査関係の窓口を町民課にするものです。その他の節につきましては、前年度実績等を考慮し、計上したところであります。69ページに戻りまして、特定財源につきましては墓地、土幌聖苑使用料及び畜犬登録手数料ほか、記載のとおり見込んでおります。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
亀野総務

総務企画課長。

総務企画課長、亀野よりご説明を申し上げます。

企画課長 4目病院費は、前年度対比9,123万3,000円減の4億1,626万7,000円を計上したところでございます。増減につきましては、運営資金一時貸付金1億円を減額し、71ページ上段の23節、企業債及び医療機器整備への出資金を前年度対比876万7,000円増の6,626万7,000円であります。特定財源につきましては、愛のまち建設基金繰入金から施設整備相当分を記載のとおり充当するものでございます。

次に、5目上水道費は、前年度対比333万6,000円増の4,936万6,000円で、全額を簡易水道事業特別会計へ繰り出すものでございます。

以上で説明を終わります。

加藤 健康介護担当課長。

委員 長
三島保健
福祉課
健康介護
担当課長 6目新型コロナワクチン接種事業費は、新型コロナワクチン接種に関わる経費5,179万7,000円を計上しております。主なものは、予防接種による健康被害が生じた場合において医学的見地から必要な調査を行い、救済について協議する予防接種健康被害調査委員に対する経費として1節報酬、8節旅費、13節、会議室使用料で68万2,000円を計上、また1節から4節までは接種券の予約受付などの業務に当たる会計年度任用職員4名分の人件費617万円を計上、10節需用費と11節役員費、17節備品購入費は接種に関する物品や郵便料などそれぞれ計上いたしました。12節委託料は、接種券の作成に127万8,000円、ワクチン管理や薬品管理、国保病院の医師、看護師等の体制整備に関わる経費700万円、また予防接種委託料として6,000人の2回接種費用2,747万円を計上、14節工事請負費は、接種会場のエアコン設置工事として563万7,000円を計上しております。72ページに移りまして、18節負担金補助及び交付金では接種会場までの移動に支援が必要な方へのハイヤー券の助成として200万円を計上しております。71ページに戻っていただき、特定財源につきましては新型コロナワクチン接種対策費負担金及び新型コロナワクチン接種体制確保事業補助金で歳出と同額の5,179万7,000円を見込んでいるところです。

以上で終わります。

加藤 町民課長。

委員 長
藤内 町民課長、藤内よりご説明をいたします。

町民課長 72ページ、2項1目ごみ処理費は、予算額1億4,838万1,000円で、前年度対比3,320万5,000円を増額するもので、その主な要因といたしまして、10節需用費の修繕料で中土幌リサイクルセンターのペットボトル減容機と梱包結束機の修繕として合わせて352万円を計上、12節委託料ではごみ収集車の新規購入のため、ごみ週委託料で307万円を増額、18節負担金補助及び交付金の北十勝二町環境衛生処理組合運営分担金で焼却施設の炉内内部及び周辺装置等の修繕により2,440万9,0

		<p>00円を増額、十勝圏複合事務組合負担金は令和9年度中に供用開始予定の新中間処理施設の各種調査事業が令和3年度より開始されることにより118万6,000円を新規計上しています。生ごみ堆肥化容器購入助成金については、近年電気式の生ごみ処理機の購入が増えていることから、10万円を増額しています。その他の節につきましては、前年度実績等を考慮し、計上したところであります。特定財源といたしまして、一般廃棄物処理業許可申請手数料、ごみ処理手数料ほか、記載のとおり見込んでいます。</p> <p>続きまして、73ページ、2目し尿処理費は、予算額1,012万5,000円、前年度対比312万5,000円を増額するもので、その主な要因は18節負担金補助及び交付金で中士幌地区農業集落排水施設の汚泥処理をこれまで士幌終末処理場へ搬出していましたが、令和3年度より稼働する新処理場は処理方式の変更により汚泥処理ができなくなります。そのため、十勝川浄化センター浄化槽汚泥等受け取り施設へ搬入することとしており、汚泥搬入量の増加に伴い、負担金が増額したものです。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>説明が終わりましたので、民生費、衛生費について質疑を行います。ありませんか。10番、森本委員。</p> <p>72ページ、新型コロナワクチン接種事業費についてお伺いをいたします。</p> <p>18節負担金補助及び交付金の中で65歳以上の方、それから障がい等をお持ちで移動困難な方の支援として、タクシー券の発行ということで以前も説明をいただきました。お話を聞くと、65歳以上の方は全て対象であり、必要であると申請があればどなたにでもタクシー券をお渡しするということでしたが、これについては自分で運転される方もいらっしゃると思いますが、その方についても対象にするということは、接種後の容体急変等も考慮した考え方で必要とを感じる方については全員発行するということなのか、説明をお願いしたいと思います。</p> <p>保健福祉課長。</p> <p>保健福祉課長、藤村ほうからご説明いたします。</p> <p>森本委員のおっしゃるとおり、当然体調不良が起きるかもしれませんが、心配な方がいましたら申し出て、対象とするというふうにご考えております。</p> <p>以上です。</p> <p>10番、森本委員。</p> <p>そんな方については発行すると、タクシーを運行される方との打合せ、例えば接種後その方は自分で運転できるけれども、不安があるので、タクシーを利用している。もちろん障がいのある方、自ら移動で</p>
質疑	加藤委員長 森本委員	
	加藤委員長 藤村保健福祉課長	
	加藤委員長 森本委員	

	<p>きない方についてもそうですけれども、それらのタクシー会社との連携も取っていかねばいけない。急変した場合にどういう行動を起こすのか、その点も、現在もう打ち合わせされているものだと思いますけれども、綿密な連携を取りながら進めていただきたいと思います。</p>
加藤委員長	保健福祉課長。
藤村保健福祉課長	<p>保健福祉課長、藤村のほうからご説明いたします。</p> <p>委員のおっしゃるとおり、土幌ハイヤーとも何回かお話ししまして、利用者に迷惑のかからないように連携を取って進めてまいりたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
加藤委員長	3番、大西委員。
大西委員	54ページの障がい者福祉、大きく見ると障がい者雇用率が3月1日から3年ぶりに0.1%ずつ上がったのですが、土幌町はそれに対応できているのか。
加藤委員長	総務企画課長。
亀野総務企画課長	<p>総務企画課長、亀野よりお答えをさせていただきます。</p> <p>本庁舎の雇用率につきましては、今現状で3.29%ということになってございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>(「基準」と言う者あり)</p>
亀野総務企画課長	<p>基準のほうは一応2.5%以上ということで、ただ今後ポイント的には上がっていきますので、基準にのっとりながら雇用に努めていきたいと考えてございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>(「教育委員会は」と言う者あり)</p>
加藤委員長	教育長。
堀江教育長	50人以上の職場ということで、教育委員会も高校があることで対象になっておりますが、基準の率は満たしていないのですが、職員数に率を掛けた人数は切り捨てすることになっております。現在1名雇用していて、法的には問題ないということでございます。
加藤委員長	3番、大西委員。
大西委員	いずれにしても、教育委員会も2.5%ですか、それをクリアしているそうですから安心していただけますけれども、民間企業も2.3%、0.1%上がったのですが、50人以上雇用している、JAしかないのだと思いますけれども、土幌町。そういうところもなるべく働きかけて、町から

も働きかけながら、障がい者の雇用を促進してもらうことも障がい者福祉の中で大きな中で考えるとやらなければならない仕事なのだろうなと思います。本来は教育委員会に質問すればいいのですけれども、別々になるとあれなので、今回の障がい者福祉で質問させてもらいました。だから、率先して雇用促進していただきたいと思います。

68ページの貸付金なのですが、医師の修学資金貸付け、大体もう卒業ぐらいになるのかなと思うのですが、医師に貸し付けている、今学生なのか、その人は大体何年たって、いつ卒業して、どうなるのか。土幌の病院にいつ戻ってくるのか、その内訳が分かれば教えてください。

加藤 副町長。

委員 長

高木

副町長

病院の医師の関係の貸付金については、今病院事務長がここに出席しておりませんので、後ほどお答えをさせていただきたいというふうに思います。

加藤

委員 長

大西委員

3番、大西委員。

新型ワクチンの接種事業費の中で報酬で会計年度任用職員の報酬4人分ということで490万円計上されていますけれども、4人で何か月分を計上してあるのですか。

加藤

委員 長

藤村保健

福祉課長

保健福祉課長。

保健福祉課長、藤村のほうからご説明いたします。

4人を見込んで6か月で計上しております。

以上です。

加藤

委員 長

大西委員

3番、大西委員。

6か月計上しているということは、6か月で大体ワクチンの接種が終わるという見込みなのですか。

加藤

委員 長

藤村保健

福祉課長

保健福祉課長。

保健福祉課長、藤村のほうからご説明いたします。

4名雇用しますが、期間をずらして、1年をめどに終わらせるという計画で計上しております。

加藤

委員 長

大西委員

3番、大西委員。

今の説明では4人を半年間雇用するよと言うから、半年で接種が終わるのですかという質問をしたら、4人をずらして1年使うのだと。半年分と言っていたのに今度1年になったり、説明がちゃんとつじつま合わないのだ。我々聞いてははっきり分かるように説明してくれない

と。だから、4人を6か月で接種が終わるのかと聞くわけでしょう。それはそれでちゃんと答えて。6か月で多分終わらぬと思うのです。そうすれば、補正でまた組んでまた採用したいとかという答弁してくれないと、何だか訳分からぬうちに2人にして1年だとか、本当の話はどうなの、それ。ちゃんと答えて。

加 藤 保健福祉課長。

委員長
藤村保健
福祉課長

保健福祉課長、藤村から説明させていただきます。
委員のおっしゃるとおり、私の説明の誤りであって、2人を1年ずつずらして、4人を2人ずつずらして1年間を雇用するというところでございます。

加 藤 副町長。

委員長
高 木
副 町 長

延べ4人ということではあるのですが、常時雇用しているのは2人の状態で1年を雇用させていただくと、そういう意味でございますので、どうぞよろしく願いいたします。

加 藤 3番、大西委員。

委員長
大西委員

新型コロナワクチンの接種費がありますけれども、昨日私も質問させてもらったけれども、この間24日の日にシミュレーションをやって、大体きちっとできましたというマスコミ報道があったので、きちっと答弁もらえるのかと思ったら、質問したら、検討しますとか、これから考慮しますとか、なかなかはっきりした答えが出てこないのです。もう間もなく接種しないとならないのに、途中で質問減らしましたもの、答えが全然。だから65歳以上の高齢者の順番はどうするのだという、それだっけきちっとした答弁が出てこないし、課長の答弁では。聞きようなくなってしまうのです。シミュレーションやって、あれだけきちっとやれたという自信があるのなら、そういう細々としたところも全部課長会議や何かでみんな相談しているわけですから、保健福祉課もきちっと答えてくれないと。

だから、私はあの質問の最初に、これはみんな聞いて、町民から聞かれたときにみんな議員は皆さんに言うのだから、ちゃんと答えてくださいよと、途中で変わることはないよと言って念押しして質問したのですけれども、なかなか。こんなことまできちっと話し合っていないのかなというようなことまで答弁ができていないから、だから質問したけれども、何だかさっぱり分からないで、こっちは答えも分からぬから終わってしまったのだけれども、いろいろ町民が初めてのことで分からないで心配している部分をきちっと答弁で行政のほうから町民を安心させて接種を受けるような体制をつくらないと、80%接種

するのでないかという思いがあるかもしれないけれども、これだったら受ける人は結構不安が出てくるのだと思うのです。だから、ちゃんと答えはきちっと答弁してくれないと。昨日傍聴人も来ていたけれども、よく分かったのかなと私自身が不安ですもの。何か答弁がふにゃふにゃになってしまって、今のそれもそうです。全然訳分からなくなってしまうから、ちゃんと答弁、みんなで話し合っけきちっと決めたら答弁してください。でないと、とてもではないけれども、質問したって答弁がぐちゃぐちゃで分からないです。

加 藤
委員 長
小林町長

町長。

昨日一般質問でワクチンの接種についてなのですが、町の方針は、シミュレーションもやって、基本的には単位としては1時間当たり30人めどにしてやるという体制はできているので、そしていろんなものを研究しているのですが、一番の問題はワクチンがいつどんなふうに入ってくるということが決まっていないうことが一番担当でも苦慮しているところであり、今後ワクチン供与がいろんな形でするので、それに対応しながら進めていくということでもありますから、今日の新聞ではワクチンの第1陣があれしたのですが、帯広に来るのは500人分ですから、そうするとどんな体制になるかというのは、それは昨日病院の院長ともちょっと打合せをしたのですが、ワクチンの供給に合わせてきちんと体制を取っていきたいというふうに思っていますし、それから足の確保だったり、それは先ほど申し上げたとおりハイヤー、タクシーを使って、利用したいという人はする予定でありますし、さらに昨日一般質問の議論の中であったように、しっかり周知を早く正確にしていくということに取り組んでいきたいというふうに思います。

加 藤
委員 長
森本委員

10番、森本委員。

59ページ、児童福祉費の児童福祉総務費、11節役務費ですが、今年度電話料で計上されておりますが、昨年管理委託賠償保険ということで13万2,000円計上されておりましたが、今年度については計上なしということになっています。これは、どういう経過でこの保険掛けなくてよくなったのか、またどういう内容の保険だったのか、答弁願います。

加 藤
委員 長
小野 寺
教育課長

教育課長。

教育課長、小野寺のほうからご回答させていただきますけれども、今回まず役務費にあります電話料ですが、これにつきましては上居辺学童保育のほうで電話が必要となりまして、外に行ったり、指導員が2名体制なので、連絡体制を取るのに不都合が出た

りということで、子機つきのもので電話を設置するもの。昨年の中
から電話を設置しているのですけれども、したところであります。

それと、賠償保険につきましては、単独で町で昨年まで掛けていた
のですけれども、委託料の中に盛り込んで、保険のほうは委託費に盛
り込んで計上しているということになりますので、そのような形で減
額となっております。

以上です。

加 藤
委 員 長
牧野委員

7番、牧野委員。

70ページ、17節、合併処理槽のことなのですからけれども、今回一本に
まとまったということなのですが、今後浄化槽の設置対象者が全員合
併槽になったら、この事業というのは終わるのでしょうか。

加 藤
委 員 長
藤 内
町民課長

町民課長。

町民課長、藤内のほうよりご説明いたします。

皆さん合併浄化槽つけたとしましても、また更新することも考えら
れますので、続けていく方向と伺っております。

以上です。

加 藤
委 員 長
牧野委員

7番、牧野委員。

継続、続けていくということなのですからけれども、例えばそれは増改
築とかで人槽が例えば5人から11人に替えるという人だったりとか、
また新築でまた新たに1つつけるという方、その方も一旦は助成もら
っていると思うのです。そういう方でも対象になるということですか。

加 藤
委 員 長
小林町長

町長。

まず、最初の単独槽の方がまだいらっしゃると、基本的には単独槽
から合併槽に替えるやつについては基本的に対象にして給付していく
という、あくまでもそもそも合併槽については市街地における下水と
の関わりということでありましてけれども、あと今改修にしても、例え
ば一家の農家で息子さん結婚されて別に住む、それは対象にしている
のですけれども、あとは増改築した場合どうするかということについ
ては、農協も同じように助成しているので、そこは少し詰めて今後そ
こら辺は整理をしていきたいなと思っておりますが、取りあえず単独槽から
合併槽に替えるやつは対象にしていくという考え方で進めていきたい
と思っております。

加 藤
委 員 長

町長、僕もちょっと聞きたいのだけれども、今の。もう既に今牧野
委員が言ったように一度助成金もらった方も、例えばもう一回家を新
しくしたとか、増築、改築したときに合併槽やったときにも実施して
いるところもあるのでないの。2回助成してしまったというケースっ

<p>亀野総務 企画課長</p>	<p>て確認できている。 総務企画課長。 総務企画課長、亀野よりお答えをいたします。 先ほど町長が申しました単独槽から合併槽への助成のほうはあるの ですけれども、基本的に合併槽自体から次また新しく合併槽へという 助成は、手元の資料としては今ちょっとないので、新規しか該当はない のかなというふうに考えます。</p>
<p>加 藤 委 員 長</p>	<p>暫時休憩します。11時10分まで休憩とします。</p> <p style="text-align: center;">午前10時56分 休憩 午前11時10分 再開</p>
<p>加 藤 委 員 長 亀野総務 企画課長</p>	<p>休憩前に戻り、会議を再開します。 総務企画課長。 総務企画課長、亀野より先ほどの合併浄化槽の件につきまして再度 お答えをさせていただきたいと思えます。 まず、要綱の中でそれぞれ1回助成を受けた者に対しましては、同 一、もしくは隣接した敷地での住宅新設及び増築に伴う浄化槽設置の 助成対象といたしましては、まず1つ目に既存住宅と新築住宅、また は増築住宅に世帯が分かれた場合でございます。あともう一点が既設 住宅を農業実習生の居住施設やグリーンツーリズムなどで活用する場 合を定めてございます。しかしながら、この対策、環境対策でござい ますので、少しでもこの中で言われている案件につきましては助成対 象としていくのが妥当かと考えてございますので、ご理解いただきま すようよろしくお願いをいたします。</p>
<p>加 藤 委 員 長 牧野委員</p>	<p>以上でございます。 7番、牧野委員。 今の答弁のほうで理解できたのですけれども、助成金のほうなので すけれども、恐らくずっと50万円できていますよね。今資材も上がっ てきている中で、50万円というのは見直しというのはかけないの でしょうか。</p>
<p>加 藤 委 員 長 亀野総務 企画課長</p>	<p>総務企画課長。 総務企画課長、亀野よりお答えをいたします。 実は助成額は町としては一律30万円となっておりまして、多分農 協の助成もございまして50万円という形ですけれども、資材等も最近 は高騰してございますので、農協とも協議をいたしまして今後の取組 に努めていきたいと考えてございます。</p>

		以上でございます。
	加藤委員長	それと、先ほど大西委員からの質問がありました医師修学資金貸付金について副町長より答弁あります。
	高木副町長	先ほど大西委員から質問のありました医師の修学貸付金の件についてお答えをしたいというふうに思います。
		本町におきまして現在貸付けを行っている者が1名おります。この方は、医大を平成29年に卒業して、その後研修をしているということで、その方と連絡を取っているところでありましてけれども、どうやら本町での勤務の意思が今なさそうでありますので、全額返済をしていただく方向で今協議をしているという実態でございます。なお、本町に赴任いただいて3年以上勤務をしていただければこの貸付金は償還免除という規定になってございます。
		以上であります。
	加藤委員長 大西委員	3番、大西委員。 ということは、卒業したから修学資金の貸付けはいいのですけれども、この180万円というのはいし新しい人が出たための計上ですね。分かりました。
	加藤委員長	そのほかありませんか。
		(なし)
	加藤委員長	なければ、これで民生費、衛生費の質疑を終了します。 ここで説明員交代のため暫時休憩します。
		暫時休憩
説明	加藤委員長	休憩を解き、委員会を再開します。
	西野産業振興課長	次に、 労働費 、 農林業費 、 商工費 について説明を求めます。産業振興課長。 産業振興課長、西野からご説明いたします。 73ページの5款1項1目労働諸費につきましては、前年度比150万4,000円増の1,883万7,000円を計上したところでございます。増額の主な要因は、これまで補正予算対応としておりました雇用対策事業につきまして12節に冬期雇用対策事業委託料400万円を当初予算で計上したことによるものでございます。18節負担金補助及び交付金では、上から5行目の定住雇用促進賃貸住宅建設事業助成金は賃貸住宅の建設動向により250万円減の750万円を計上し、そのほかはほぼ前年度と同様に各種負担金、助成金を計上しているところでございます。20節貸付金では、前年度と同額の合計430万円を計上したところでございます。特定財源といたしましては、労働者福利厚生資金預託金回収金40

加藤委員長	<p>0万円、勤労者福祉資金貸付金償還金30万円でございます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>施設担当課長。</p>
田中建設課施設担当課長	<p>施設担当課長、田中から説明いたします。</p> <p>73ページをお開き願います。2目勤労青少年アパート管理費は、フレンドハウスの運営に係る必要経費を計上しております。本年度計上額は835万7,000円で、対前年度12万円の減額となっております。主な減額要因は、10節需用費で燃料費など光熱費の執行見込み減額によるものです。そのほかの節は、ほぼ前年同様の内容となっております。特定財源につきましては、勤労青少年アパート使用料201万6,000円、雑入金108万8,000円を計上しております。</p>
加藤委員長 三島農業委員会事務局長	<p>以上で説明を終わります。</p> <p>農業委員会事務局長。</p> <p>74ページ、6款1項1目農業委員会費について農業委員会事務局長、三島からご説明いたします。</p> <p>今年度の予算総額は3,373万7,000円で、対前年度比88万2,000円減額となっております。主な要因としましては、一般職2名及び会計年度任用職員1名の1節報酬から3節職員手当等に係る人件費で790万7,000円の減、2,415万6,000円、8節旅費で普通旅費に伴う9万6,000円の減で256万7,000円、その他の節につきましては前年度とおおむね同様の計上額、内容となっております。特定財源につきましては、農業委員会交付金の3件で前年と同額の668万4,000円を充当するものであります。</p>
加藤委員長 西野産業振興課長	<p>以上で説明を終わります。</p> <p>産業振興課長。</p> <p>産業振興課長、西野からご説明いたします。</p> <p>75ページの2目農業総務費は、前年度比2,514万円減の4,775万5,000円を計上したところでございます。減額の主な要因は、人件費の減によるもので、1節報酬では会計年度任用職員1人分261万円、2節から4節までは職員5人分の人件費及び会計年度任用職員の手当等で合わせて2,770万5,000円減の4,415万円を計上したところでございます。以下8節、10節、12節、76ページに移りまして18節まで、ほぼ前年同様の内容となっております。</p> <p>次に、76ページの3目農業振興費は、前年度比252万9,000円減の3,102万5,000円を計上したところでございます。減額の主な要因は、農</p>

畜産物加工研修施設に係る工事費、備品購入費の減や18節負担金補助及び交付金のうち、家畜ふん尿バイオガスプラント整備推進助成金の助成期間満了によるものでございます。主な支出ですが、12節委託料では農畜産物加工研修施設指定管理委託料として前年度同額の1,606万円のほか、新規事業といたしまして農業振興地域整備計画の全体見直しに係る計画図書作成委託料に128万5,000円を計上、18節負担金補助及び交付金ではほぼ前年度と同様に各種負担金、助成金を計上しておりますが、上から6行目の農業経営基盤強化資金利子助成金を償還利子助成の減に伴い、74万4,000円減の307万9,000円、下から2つ目の農業新分野開発推進事業助成金は農畜産物等を活用した新たな商品開発事業への助成として100万円を計上したところです。特定財源につきましては、農業経営基盤強化資金利子補給補助金などで記載のとおり充当しているところでございます。

次に、77ページの4目農業振興基金運用事業費につきましては、基金運用委員会の決定を踏まえ、前年度比5,556万1,000円減の3,110万6,000円を計上したところでございます。減額の主な要因は、基幹作物輪作維持支援事業助成金など18節負担金補助及び交付金の減によるものでございます。1節報酬、8節旅費は前年度同様、18節負担金補助及び交付金では文化交流学生派遣事業負担金として前年度同額の365万円を計上、産業担い手確保育英事業助成金は3人分の75万円、農薬空袋処理事業助成金32万9,000円、農業廃棄物処理事業助成金206万4,000円はともに前年度同額でございます。基幹作物輪作維持支援事業助成金はオフセット型ポテトハーベスター3台分として前年度比5,100万円減の900万円、コントラ会事業助成金を前年度同額の15万円を計上したところでございます。24節積立金は、農業振興基金積立金の特別分と一般分を合わせまして1,513万6,000円であります。特定財源につきましては、基金利子収入の一般分528万4,000円、特別分1,313万6,000円、基金繰入金540万円等、記載のとおり見込んでいるところでございます。

次に、5目農業振興人材育成基金運用事業費につきましては、基金運用委員会の決定を踏まえ、前年度比5万1,000円減の99万8,000円を計上したところでございます。1節報酬、8節旅費は前年度同様、18節負担金補助及び交付金では農業後継者等海外研修助成金、農協青年・女性部研修講座等受講助成金、アグリ研究グループ活動助成金はそれぞれ前年度と同様の事業を行うものであります。特定財源につきましては、基金利子収入99万8,000円でございます。

続きまして、78ページの6目畜産業費は、前年度比206万2,000円増の2,199万6,000円を計上したところでございます。なお、酪農振興基金の運用に係る事業につきましては、基金運用委員会の決定を踏まえ、事業費を計上したところでございます。増額の主な要因は、基金積立

金の増によるものでございます。1節報酬は前年度同様、2節から4節までは職員1人分の人件費を計上、18節負担金補助及び交付金では各種畜産関係団体への負担金及び助成金で、1行目から8行目の馬事振興会活動助成金までは前年度と同様の内容で、次の酪農ヘルパー事業助成金につきましては酪農人材確保対策分を含め、前年度同額の320万円を計上し、家畜損害防止事業助成金、畜舎等衛生事業助成金につきましても引き続き前年度と同様の助成を行うものであります。24節積立金は、前年度比213万円増の218万1,000円を計上したところでございます。特定財源につきましては、家畜伝染病予防手数料取扱い委託金2,000円のほか、基金の利子収入など記載のとおり充当し、合わせて1,064万9,000円でございます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
増田
建設課長

建設課長。

建設課長、増田からご説明させていただきます。

79ページをお開きください。予算書と併せまして予算説明資料9ページから11ページと15ページをご参照願います。7目土地改良事業費は、町が実施する農道1路線、排水路1条と道が実施する農道2路線の事業執行に関わる経費と道営畑総の4地区分の事業に係る地元負担金並びに多面的機能支払交付金事業に伴う9地区保全隊の補助金のほか、農業用施設の維持管理等に関わる経費を計上しているものでございます。本年度計上額は7億2,436万6,000円、対前年度比2億1,207万6,000円の増額計上となっております。主な増額要因は、12節委託料が5,490万円の減額、14節工事請負費が2,090万円の増額、18節負担金補助及び交付金が2億4,288万8,000円の増額計上となりました。この内訳は、土幌南地区排水路整備実施設計が完了し、委託料が減額したとその事業の工事を着手するため工事請負費が増額となり、また負担金の増額につきましては国営事業完了に伴う国営土地改良事業償還負担金の増額のためとなります。これまで説明した以外の節は、ほぼ前年度同様の計上となっております。特定財源は、ここに記載のとおり、各事業に関連します道営土地改良事業受益者分担金3,780万円のほか、補助金、委託金並びに各種事業債等を計上しております。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
西野産業
振興課長

産業振興課長。

産業振興課長、西野からご説明いたします。

80ページの8目農地利用集積円滑化事業基金運用事業費につきましては、前年度比9万4,000円減の1,168万4,000円を計上したところでございます。1節報酬、8節旅費は前年度同様、18節負担金補助及び交付金については農地利用集積円滑化事業助成金として前年度比10万

8,000円増の478万6,000円、24節積立金は基金積立金に前年度比20万2,000円減の687万4,000円を計上したところでございます。特定財源につきましては、基金利子収入446万円など記載のとおり充当し、合わせて1,168万4,000円でございます。

続きまして、81ページの2項林業費、1目林業振興費につきましては、前年度比120万3,000円増の2,138万6,000円を計上したところでございます。増額の要因は、有害鳥獣捕獲報償並びに森林環境譲与税基金を活用した輝く未来へつなぐ森林整備事業補助金の増によるものでございます。初めに、有害鳥獣対策に係る予算についてご説明いたします。7節報償費では、有害鳥獣捕獲報償のうち、エゾシカ1頭当たり単価を7,000円から1万円に増額し、熊駆除報償と合わせて前年度比38万円増の260万1,000円を計上したほか、10節需用費の消耗品費7万2,000円、食糧費8,000円、11節役務費3万6,000円、12節委託料の森林地理情報システム保守委託料以外の135万9,000円、18節負担金補助及び交付金のうち、上から6行目の猟友会有害鳥獣駆除助成金9万1,000円、その次の銃猟免許新規取得者助成金10万円、下から2行目の地域エゾシカ対策事業助成金28万8,000円で、総額455万5,000円でございます。次に、民有林振興に係る予算につきましては、18節負担金補助及び交付金の上から4つは各種林業関係団体への負担金を計上、5つ目の十勝森林認証取得協議会負担金20万1,000円は平成27年度に十勝管内の12森林組合と17市町村が参加して取得した森林認証の管理費用でございます。下から3つ目の未来につなぐ森づくり推進事業補助金725万円は、伐採後の確実な植林等を支援する事業で、民有林の植林31.4haに対する補助金でございます。また、令和元年度の森林環境譲与税創設に伴い、一番下の輝く未来へつなぐ森林整備事業を令和2年度から実施し、民有林の下草刈り、保育間伐等に係る費用への補助金として前年度比95万4,000円増の300万円を計上したところでございます。特定財源につきましては、未来につなぐ森づくり推進事業補助金446万1,000円、森林環境譲与税基金繰入金300万円のほか記載のとおり充当し、合わせて822万2,000円でございます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
増田
建設課長

建設課長。

建設課長、増田からご説明いたします。

2目林道費では、継続事業であります道営森林管理道ワッカ美加登線開設事業でこの事業に係ります地元負担金といたしまして事業費の25%分、18節負担金補助及び交付金で1,250万円を計上しております。次に、特定財源につきましては、辺地対策事業債といたしまして同額1,250万円を計上しております。

以上で説明を終わります。

加藤委員長
西野産業
振興課長

産業振興課長。

産業振興課長、西野からご説明いたします。

82ページの7款1項1目商工振興費につきましては、前年度比2,921万8,000円増の1億4,034万円を計上したところでございます。増額の主な要因は、18節に計上いたしました新型コロナ対策の事業継続緊急支援金の追加及び商品券発行事業助成金の増額によるものでございます。1節報酬から4節共済費までは、一般職3人及び会計年度任用職員1人分の人件費でございます。18節負担金補助及び交付金では、2行目のタウンプラザ施設維持負担金として2か年事業で実施されますタウンプラザの屋根防水工事への負担金として321万5,000円を計上、3行目の商工会活動助成金に前年度同額の2,194万5,000円、5行目の商工業活性化推進事業助成金は実績を勘案し、前年度比72万円減の1,263万4,000円を計上しております。7行目の商品券発行事業助成金につきましては、前年度から1,000万円増額し2,000万円として、プレミアム商品券の発行事業を継続、拡大しようとするものであり、8行目の企業立地促進奨励金では土幌町企業立地促進条例により、土幌町農業協同組合スナック工場に係る固定資産税の一部を立地奨励金として820万6,000円の交付を予定するものでございます。下から4行目の商工業にぎわい創出推進事業助成金は新商品の開発、研究など新たな取組に対しての助成として前年度と同額の200万円、下から3行目の住宅リフォーム費用助成事業補助金は町内経済の活性化を促進するため、1件当たり工事費の10%以内、10万円を限度とする住宅リフォーム費用への助成として前年度と同額の210万円を計上しているところでございます。下から2行目の移住促進事業補助金は、転入費用への助成のほか、中古住宅を購入しての転入、あるいは空き地を購入して住宅を建設して転入する方へそれぞれ25万円、子育て世帯はさらに25万円を上乗せ助成する制度で、実績を勘案し、前年度と同額の178万円を計上、下から1行目の事業継続緊急支援金につきましては、新型コロナウイルスの影響により売上げ減少など厳しい状況に直面する飲食店など小規模事業者の事業継続支援するもので、令和2年度の補正予算に続きまして令和3年度当初での実施分として1,800万円を計上したところでございます。20節貸付金につきましては、前年度と同様に中小企業者事業資金融資預託金2,000万円を計上しております。特定財源につきましては、地方創生臨時交付金2,000万円のほか、記載のとおり見込んでいるところでございます。

次に、83ページの2目観光振興費につきましては、前年度比630万1,000円増の1億300万6,000円を計上したところでございます。増額の主な要因は、18節に計上いたしました新型コロナ対策の観光拠点施設雇用継続支援金の追加によるものでございます。7節報償費では、無

料入湯券取扱い報償費を前年度同額の680万円計上、10節需用費のうち修繕料は207万8,000円減の610万円で、しほろ温泉プラザ緑風など観光拠点の3施設の各種修繕費用を計上しております。12節委託料では、施設管理費用の実績等を勘案し、道の駅ピア21しほろ指定管理委託料は1,897万円、しほろ温泉プラザ緑風指定管理委託料は1,173万8,000円、土幌高原ヌプカの里指定管理委託料は1,244万5,000円をそれぞれ計上しております。下から2行目のプラザ緑風再整備プラン策定委託料につきましては、施設や設備の経年劣化が進むプラザ緑風においてポストコロナを見据えた施設の改修に向けた再整備プランの策定経費として100万円を計上し、その他の委託業務につきましては前年度実績を勘案し、ほぼ前年度同様の計上となっております。14節工事請負費につきましては、土幌高原ヌプカの里施設設備改修工事160万円は土幌町国産材展示施設ニイ・ピリカ・チセのアプローチ通路の補修やキャンプ場周辺の整地工事を行い、道の駅ピア21しほろ施設設備改修工事130万円は屋外の敷石の一部を補修するほか、必要な整備をするものでございます。17節備品購入費320万円は、しほろ温泉プラザ緑風、土幌高原ヌプカの里、道の駅ピア21しほろの各種施設備品を購入するものであります。18節負担金補助及び交付金につきましては、記載の各種団体に対する負担金及び助成金ですが、上から2行目の土幌町観光協会負担金は前年度比80万円増の350万円を計上、下から2行目の下居辺交流施設運営費補助金は重油高騰支援、修繕料支援、電気料支援など前年度と同額の1,500万円を計上しております。84ページに移りまして、20節貸付金ですが、第三セクター貸付金を前年度と同額の1,000万円を計上し、株式会社ベリオーレに対して運転資金の貸付けを行うものでございます。83ページに戻っていただきまして、特定財源につきましては地方創生臨時交付金500万円のほか、記載のとおり見込んでいるところでございます。

以上で説明を終わります。

質疑

加藤
委員長
森本委員

説明が終わりましたので、労働費、農林業費、商工費について質疑を行います。ありませんか。10番、森本委員。

76ページ、18節負担金補助及び交付金、新たに農業新分野開発推進事業助成金が計上されておりますが、主にどのような方を対象としたものであるのか、また後半ではにぎわい創出助成金の中でも新商品開発に係る部分も関連してくると思うのですが、この2つの内容の違いといいますか、説明をいただきたいと思えます。

加藤
委員長
西野産業
振興課長

産業振興課長。

産業振興課長、西野からお答えさせていただきます。

まず、農業振興費の最初の農業新分野開発推進事業助成金100万円につきましては、事業としては平成24年度からございます中の農業分

の農業新分野開発事業ということで、過去実績あった年、ない年あるのですけれども、令和3年度につきましては町内の畜産農家の方が自ら飲食店を出す計画をしております、それに係る経費の助成といたしますか、現在土幌町商工会と連携して今対応を準備しております、それに係る助成金でございます。

それと、もう一件、商工費の商工業にぎわい創出事業助成金の200万円のことかと思うのですけれども、こちらは平成31年、令和元年度から3年間の計画で町とCherSととかち財団の連携によりまして、主にシーベリーを活用した新たな商品開発ですとか販路拡大の研究、試作品の製作、その辺を取り組んでおります。令和3年度最終年になりまして、こちらの事業への助成金となっております。

以上でございます。

(何事か言う者あり)

西野産業
振興課長

西野から追加でお答えさせていただきます。

最初の農業新分野のほうは農業者の方を対象とした助成金になっておりまして、もう一つの商工費の商工業にぎわい創出事業助成金につきましては先ほど言ったように農業者ではなく、別の事業者、具体的に言いますとCherSなのですけれども、への助成金となっております。

以上でございます。

加藤
委員長
森本委員

10番、森本委員。

土幌町は新たな商品開発にそれなりの助成金、補助金を出して応援しているわけでありまして、現在までにどのぐらい新しい商品が開発をされて、しっかりと軌道に乗って販売ができているのか、その辺の検証は町として行っていますでしょうか。

加藤
委員長
西野産業
振興課長

産業振興課長。

産業振興課長、西野からお答えさせていただきます。

今森本委員ご指摘のとおり、CherSであったり、土幌高校との連携であったり、いろいろ商品開発進めているところでございますが、まだおっしゃられた検証というところまでには至っていないのが現状でございます。現在もいろいろCherSのほうで土幌高校と連携したそういう商品開発も進めているところでございますが、なかなか幅広い販路拡大というところまで至っていません。ということもございまして、今後その辺も含めて、我々産業振興課もそうですけれども、関係機関と連携しながら、いろいろご意見いただきながら検証していきたいなというふうに思っております。

以上です。

加藤

10番、森本委員。

委員長
森本委員

土幌の振興のために新たな商品開発に取り組んでいただいている方々には心から感謝申し上げますが、やはり助成金出しておりますので、先ほど申し上げた検証も含め、どの程度の成果が出ているのか、新たな商品が開発されたのであれば、土幌の特産品として町民の方にもしっかりとお知らせしていくということが必要だと思います。現在助成金を出して、どういう商品が新たな特産品になっているのかって御存じの町民の方なかなか少ないと思いますので、今後検証も含め、商品のPR等も含めて積極的に取り組んでいただきたいと思っています。

加藤
委員長
清水委員

6番、清水委員。

ただいま質疑をされておりましたシーベリーについてお伺いしたいと思うのですが、シーベリーについては今前年度のシーベリーが冷凍保存されているということなのですが、今後の取扱いをどのように計画しているのか、生産者の方が非常に心配されているのです。非常に大量のものが冷凍保存されていて、今後というよりも、今年は豊作の年になるのだそうです。このままいくと、豊作ですからさらにシーベリーが増えるということなのだけれども、販売状況だとか、それに対しての取組はどのように進められているのでしょうかというふうにご心配されているのですが、現在の状況というのはどこまで進んでいるのでしょうか。

加藤
委員長
西野産業
振興課長
加藤
委員長
郷原
担当主幹

産業振興課長。

担当主幹のほうからお答えさせていただきます。

担当主幹。

産業振興課産業振興グループ、郷原のほうから清水委員のご質問にお答えさせていただきます。

現在CherSのほうでシーベリーのほうを冷凍保存させていただいている在庫の状況につきましては、700k冷凍保存をしている状況でございます。これにつきましては、いずれにいたしましても、先ほどお話しさせていただいておりますとかち財団さんとの共同研究開発事業もございまして、現在どのような形で新たな商品になるかというのを模索している状況でございます。ちなみに、令和2年度につきましてはシーベリーを粉状して何か新しいものを作れないかという部分もありましたし、この3月に新たな新商品として土幌高校と共同開発した辛みソース、こういったものも3月に発売をできればというところで今動いている状況です。また、令和2年度につきましてはコロ

ナの関係もございまして、実は道の駅等々で販売する予定数量がなかなか思うようにいかなかったというところもございしますので、令和3年度も含めてコロナの状況を確認しながら、できる限り冷凍保存のものについては使用していきたいなというところもございまして。また、生産者の方の部分につきましても、今年どのくらいできるかというところも改めて生産者の方お話をさせていただきながら、CheerSのほうとしてもどういった形で提携できるか、どのくらい量を確保できるかというのは改めて生産者の方と検討させていただきたいというふうに考えております。

以上です。

加藤
委員長
清水委員

6番、清水委員。

ただいま取組について説明をしていただいたのですが、昨年場合は生産者が努力して、上土幌等にも取引をしていただいて何とか処理できたということなのですが、今瓶詰めにして売り出すということについてなのですが、きちっと瓶詰めにするための加工用の機械がないと。今CheerSではそこまで取組をされていないでしょう。それで、そのような瓶詰めにして売ることができるような、そういう対策を検討していただけないのでしょうかということなのです。将来的にもこの事業を進めていくとすれば、そういった方向も当然検討していかなければいけないことなのだと思うのですが、そういう点についての考え方はありますか。

(何事か言う者あり)

清水委員

というのは、今の状態ではきちっと王冠で密閉してということができない状態なのだそうです。そうすると、食品衛生上取扱いできない。ですから、きちっと王冠密閉できるような、そういう施設を造らないといけないのだということなのですけれども、そういう取組を考えているのですかということをお伺いしているのです。

加藤
委員長
小林町長

町長。

何年かやってきたのですけれども、町と生産者の関係どうするのか、町は必要な量を買って生産しているわけですが、ただ瓶詰めとの関係については生産者が売るわけですから、地域の特産品開発として助成するのかどうかということはあるのだと思いますけれども、少しその関係については生産者と町としても整理する必要があるのかなということで、新年度に向けていろいろ検討させていただきたいと思います。

加藤
委員長
清水委員

6番、清水委員。

町長おっしゃっているとおりなのです。生産者は一生懸命生産でき

るのだけれども、私たちがいつまでも年齢考えるとやっていけるわけではないと。後継者に引き継いでいく上でも、安心して生産できるような、そういう体制をきちっと構築していただきたいのだということなのです。それは当然のことだと思うのですが、そういう面も含めて今後十分に検討されるべきだというふうに思います。

加藤
委員長
大西委員

3番、大西委員。

前にも清水さん一般質問でやっていたけれども、町が作っている農家に委託をして農家の人が生産すれば、委託しているわけだから、町が買って、瓶詰めにして何がしようが、それは町がしないとならないけれども、個人が作ったものを幾らか町が買っているだけであれば、瓶詰めをする機械は作っている人が買うのが本当であって、町が委託させているわけでもないのでしょう、どうなの、これ。何か話聞いているとよく分からないので、町が委託したのなら、それは全部買わなければならぬけれども、農家の人が作ったやつを一部町が買うというのなら、それ買っていけばいいだけの話で、何ぼたくさん出ようが出まいが、土幌高校で、CheerSで使う分だけ買えばそれで終わるのだと思うのですけれども、その辺はどうなの。何か勘違いしているのではないの。契約しているのではないかと、買うことをとこの間一般質問でもそう我々聞いていたけれども、何か話聞いていると全然違うのだけれども。

加藤
委員長
西野産業
振興課長

産業振興課長。

産業振興課長、西野からお答えさせていただきます。

今ほど大西委員言われたとおり、こちらから、町なりCheerSから生産者の方へシーベリーの生産を委託しているわけではございませんので、あくまで生産者の方と購入するCheerSのほうで、その年の生産状況にもよるかとは思いますが、CheerSのほうでシーベリーソーダですとか、そういった加工品に使う原料としてその生産物を購入させていただくというような形になっております。先ほど清水委員言われたように、その年の生産量もありますので、その辺の状況も生産者の方にお聞きしながら、相談しながら、それからまたCheerSのほうのいろんな製品、シーベリーソーダとか、そういったものの原料の見込みですとか、そういったものも考慮しながら生産者の方と相談しながら、協議しながら購入に向けては引き続き進めていきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

加藤

3番、大西委員。

	委員長 大西委員	<p>ですから、シーベリーができて、瓶詰めするのに瓶詰めの機械がないからどうのこうのというのは、それは町長が言われるように、そういうものができれば産物に使えるから、そういうのに補助金を多少出すよというなら分かりますけれども、作ったやつのために瓶詰める機械を町が買わないとならないという、そういう方式にはならぬと思うのです。今言われたように、作ったものだけはある程度使うだけ買うだけであるから、その辺は町長が言われるように瓶詰める機械を買うとすれば多少補助金を出すかという考えがあれば、それでいいのだと思います。</p>
	加藤 委員長	<p>そのほかありませんか。</p> <p style="text-align: center;">(な し)</p>
	加藤 委員長	<p>なければ、これで労働費、農林業費、商工費の質疑を終了します。ここで昼食休憩を取ります。</p> <p style="text-align: center;">午前 11時56分 休憩 午後 1時15分 再開</p>
説 明	加藤 委員長	<p>休憩を解き、委員会を再開します。</p> <p>次に、土木費、消防費について説明を求めます。</p>
	増田 建設課長	<p>建設課長、増田からご説明いたします。</p>
	加藤 委員長	<p>84ページをお開きください。8款1項1目土木総務費で、町道の管理、街路灯の維持管理費と各種団体への負担金を計上しております。本年度計上額は763万円で、対前年71万5,000円の減額となりました。主な減額要因は、10節需用費70万円の減額で、それ以外の各節につきましてはほぼ前年度並みの計上になっております。特定財源につきましては、道路占用料280万円、河川占用使用料2万6,000円を計上しております。</p>
	加藤 委員長	<p>以上で説明を終わります。</p>
	加藤 委員長	<p>総務企画課長。</p>
	亀野 総務企画課長	<p>総務企画課長、亀野よりご説明申し上げます。</p>
	加藤 委員長	<p>2目土地開発基金費は、前年度対比8万6,000円減の2万2,000円を計上したところがございます。内訳につきましては、基金利子分を繰り出し、積み立てるもので、特定財源として同基金利子収入を全額充当するものがございます。</p>
	加藤 委員長	<p>以上で説明を終わります。</p>
	加藤 委員長	<p>建設課長。</p>

委員長 増田 建設課長	<p>建設課長、増田からご説明いたします。</p> <p>3目公園管理費は、本年度計上額は909万円で、対前年度予算額と比較しますと33万3,000円の減額となりました。主な減額要因は、昨年中央駐車場トイレのストーブ更新を完了したため、今年度は備品購入費が未計上となったためでございます。そのほかの節は、ほぼ前年度同様の計上となっております。特定財源につきましては、公園敷地貸付料1万4,000円を計上しております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
加藤 委員長 佐藤 建設課 道路維持 担当課長	<p>道路維持担当課長。</p> <p>続きまして、道路維持担当課長、佐藤よりご説明させていただきます。</p> <p>85ページ、2項1目道路橋梁総務費では、本年度予算額1,706万3,000円で、対前年度比262万6,000円の増額となっております。主な内訳は、職員手当等及び共済費に関わる増と14節工事請負費として車庫のオーバースライダー改修工事に190万円を計上したことによるもので、これ以外の節ではほぼ前年度同様の実績額となっております。</p> <p>86ページに移りまして、2目道路橋梁維持費では、町道の維持管理と冬期間の除排雪に関する費用で、本年度予算額は7,217万3,000円、対前年度比243万5,000円の減額となっております。主な内訳は、10節需用費の消耗品費で除雪車両のスノータイヤに関わる更新がほぼ終了したことにより、前年比40万円減の520万円、燃料費は単価改定で52万円減の447万7,000円、11節役務費では隔年で行う大型特殊車両の法定検査手数料3台分で10万円減の4万円、12節委託料では前年比73万7,000円増の3,316万2,000円となり、説明上段の道路維持管理業務委託料においては労務単価の改定から61万円増の1,828万5,000円を、中段にある舗装道路修繕委託料では20万円を増額して750万円を、これ以外ではほぼ前年度同様の実績額となっております。14節工事請負費では、同じく労務単価の改定に伴い9万5,000円増の223万4,000円、17節備品購入費では道からの売払い、小型ロータリー除雪車と草刈り装置の購入費として228万円を、例年計上しておりました18節にありました除排雪機械購入補助金は、今年度の申込み予定ありませんので、予算計上は行っておりません。26節公課費では、車検年に伴う除雪トラック等の重量税で24万8,000円減の39万9,000円を計上したところでございます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
加藤 委員長 増田	<p>建設課長。</p> <p>建設課長、増田からご説明いたします。</p>

建設課長	<p>87ページをお開き願います。次に、3目道路橋梁新設改良費で、社会資本総合整備交付金事業を含め、道路事業、町単独の公共施設整備工事に要する経費を計上しているもので、本年度計上額は3億8,251万4,000円で、対前年度比1億1,844万1,000円の減額となっております。主な減額要因は、交付金事業道路工事及び地方道工事の減によるものでございます。各節の計上につきましては、2節から11節に係ります経費はほぼ前年度同様の計上となっております。本年度の事業執行に係る12節、14節、16節、18節、21節につきましては、事業の執行内容により今年度所要額を計上しております。特定財源は、社会資本総合整備交付金1億1,623万3,000円、道路局所管補助金2,747万2,000円を計上したほか、ここに記載のとおり、各種事業債を合わせまして2億6,000万5,000円を計上しております。</p> <p>次に、88ページをお開き願います。3項河川費、1目河川維持費は、北海道管理である音更川とワッカクネップ川に設置されている樋管2か所の管理受託経費と財産譲与用地登記委託料を計上しているもので、本年度計上額は96万4,000円で、対前年度同額となっております。特定財源につきましては、樋管樋門操作業務委託金6万4,000円を計上しております。</p> <p>次に、4項都市計画費、1目公共下水道事業費は、本年度計上額は7,403万9,000円で、1,883万2,000円の増額となっております。この目の予算は、全額27節繰出金で特別会計予算に繰り出すものです。詳細は、土幌町公共下水道事業特別会計予算でご説明申し上げます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
加藤委員 田中建設課 施設担当 課長	<p>施設担当課長。</p> <p>続きまして、5項住宅費につきまして建設課施設担当課長、田中から説明いたします。</p> <p>1目住宅管理費は、町営住宅管理に係る諸費用で、本年度計上額は1,995万5,000円で、28万6,000円の増額となっております。この主な増額要因といたしまして、人件費の増及び公用車車検整備増によるものでございます。そのほかは、ほぼ前年同様となっております。特定財源は、町営住宅関係の各種使用料等1,981万7,000円を計上しております。</p>
	<p>次に、2目住宅建設費は、町営住宅建設に係る諸費用で、本年度計上額は1,457万4,000円、対前年度8,022万9,000円の減額となっております。主な減額要因は、公営住宅建替事業の整備戸数の減によるものです。本年度は、12節委託料で中土幌北団地の建て替えに係る設計委託料として500万円を計上しております。この北団地の建て替えにつきましては、旧中土幌団地跡地への移転建て替えを予定しております。これらの節以外は、ほぼ前年度同様の計上となっております。特定財</p>

源は、町営住宅使用料1,221万1,000円、地域住宅計画関連事業交付金225万円、記載の各種委託金を236万3,000円計上しております。

次に、3目住宅団地造成管理費は、町の住宅分譲に係る諸費用で、本年度計上額は700万4,000円で、対前年度1,701万3,000円の減額となっております。主な減額要因は、みどり団地の宅地造成が完了したことによるものでございます。次、16節公有財産購入費は、分譲済み宅地の買戻し費用で、前年度同額の400万円を計上しております。18節負担金補助及び交付金は、定住促進対策事業助成金として300万円を計上しております。26節公課費は、登記に係る費用で、登録免許税として4,000円を計上しております。特定財源は、土地売払収入で700万4,000円を計上しております。

以上で説明終わります。

加藤
委員長
亀野総務
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、亀野よりご説明申し上げます。

9款1項1目消防費は、前年度対比1,290万5,000円の減の1億7,013万円を計上したところでございます。内訳といたしましては、とまち広域消防事務組合への負担金として署費、施設費及び本部共通経費を合わせて375万円を減額し、同組合に対し、職員給与分として915万5,000円の減額計上となったところでございます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
土屋
消防課長

消防課長。

消防課長、土屋から説明いたします。

それでは、90ページをごらんください。9款1項2目非常備消防費は、消防団に関する経費で、予算総額は1,211万7,000円で、前年度対比149万9,000円の減額で計上したところです。主な要因は、8節旅費で表彰団体旅費の減等による普通旅費8万4,000円の減額、消防学校入校減及び消防大会開催地等による費用弁償7万2,000円の減額により旅費全体で15万6,000円の減額、10節需用費で消耗品費で車両用バッテリー更新減等による13万1,000円の減額、燃料費での単価改定による4万3,000円の減額、修繕料で車検対象車両減により78万7,000円の減額により、需用費全体で96万1,000円の減額、91ページに移りまして、12節委託料で団広報車廃車による車両無線機取り外し料及び処分料で10万3,000円の増額、26節公課費で車検対象車両の減により重量税49万1,000円の減額によるものです。その他の節につきましては、おおむね前年度同様の予算を計上したところでございます。また、財源につきましては、一般財源によるものです。なお、17節備品購入費につきましては、昨年同様、消防団員更新用被服費を計上したところです。

質 疑	加 藤 委 員 長 清 水 委 員	<p>以上で説明を終わります。</p> <p>説明が終わりましたので、土木費、消防費について質疑を行います。ありませんか。6番、清水委員。</p> <p>89ページ、住宅建設費について伺います。</p> <p>住民から、このことはぜひただしてほしいという要望がありまして、お伺いします。実は、町民が公営住宅に入居したいという希望で公営住宅を案内していただいたと。案内していただいた職員のお名前を私のほうで聞いてくるのをちょっと失念しまして、どなたに案内してもらったか分からないのですが、いずれにしても町民からの要望は、入居希望を持って案内してもらったところが浴室に白カビと赤カビが生えていて、私たちはアレルギー体質なので、そういうところには入居できないということでお断りをいたしましたということでした。</p> <p>これは、私も公営住宅に入居したことがありますから、退去するときにはきちっと清掃して、壁が汚れていればその分もきちっと負担して退去するわけですが、その後の浴室等の清掃については自分なりにやったとしても、それはなかなかうまくいかないと思うのです。多分この清掃については業者に委託して清掃をしているのかなと、予算計上見ますとそういうことになっていますから。いずれにしても、そういう状態で入居できなかったのも、どんなふうに管理されているのでしょうかと、そのことをぜひ伺ってほしいということでしたので、今言ったような状況でしたので、ぜひその点についてお伺いしたいと思います。</p>
	加 藤 委 員 長 田 中 建 設 課 施 設 担 当 課 長	<p>施設担当課長。</p> <p>建設課施設担当課長、田中よりご説明いたします。</p> <p>公営住宅の退去したときの管理といたしましては、まず基本的には退去される方が入ったときの状態まで戻して、戻してというのは掃除含めて戻してください、現況まで戻してくださいというのが大前提なのですけれども、実際問題長く入っている方とか実際にらっしゃいまして、そこまでは復元できない。汚れも当然落ちない汚れも出てくるので、できないので、最終的には町で営繕会のほうに委託しまして、そこで営繕会の方に、営繕会の中から掃除してもらおう業者を決めて、その業者の方に、いろんな汚れがあるものですから、慣れた人がやってもらっていると。だけれども、恐らく20年ぐらいたってくと手に負えない汚れもあるので、完璧にはいかない。そんなようなケースだったのではないかなと思います。町のほうとしましては、今限られた予算の中で大多数の人がきれいだなと思えるぐらいの程度、全員100%の人がきれいだなと思えなかったのかもしれないかもしれませんが、できる範囲で整備させていただいております。そういう現状でございます。</p>
	加 藤	6番、清水委員。

委員長 清水委員	案内していただいた公営住宅は、大通西の公営住宅だというふうに言っていました。大通西の町道がありますね、町道の南側の二階建てですか、あの公営住宅だと思うのですが、そこまでは、住宅は住民が言ってくれましたから、それは分かるのですが、今説明をいただいて大方は理解できるのですが、ただ人によっては、繰り返しになりますけれども、アレルギー体質でそういう赤カビが残っていると、白カビが生えていたとかというふうに、私たちはそれを見て入居を諦めましたというふうに言っていました。私たちだけでないと思いますと、ぜひ公営住宅を管理される場合にはその辺も十分気を配っていただいて管理していただきたいという住民要望でございましたので、それはお伝えしておきたいというふうに思います。
加藤 委員長 田中 建設課 施設担当 課長 加藤 委員長	<p>以上です。</p> <p>施設担当課長。</p> <p>施設担当課長、田中よりお答えいたします。</p> <p>今のご意見を貴重なご意見といたしまして、今後の営繕に努めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p> <p>そのほか質問ありますか。</p>
加藤 委員長	<p>(なし)</p> <p>なければ、土木費、消防費の質疑を終わります。</p> <p>ここで説明員交代のため暫時休憩します。</p>
説明	<p>暫時休憩</p> <p>休憩を解き、委員会を再開します。</p> <p>教育費、公債費、諸支出金、予備費から説明を求めます。教育課長。</p> <p>教育課長、小野寺から10款教育費についてご説明いたします。</p> <p>91ページをお開きください。10款1項1目教育総務費ですが、本年度9,302万4,000円で、前年度対比2,641万8,000円の減で、主な要因は人件費、退職手当組合負担金の減によるものでございます。1節報酬から92ページに移りまして4節共済費までは、特別職と職員、計6名分、ALTを含む会計年度任用職員4名分の人件費等と前年度の実績による各委員報酬を計上、8節旅費では4年に1度の教育委員の道外視察研修のため50万9,000円の増額、11節役務費では学習用パソコン動産保険料としまして19万5,000円を新たに計上、93ページに移りまして、12節委託料ではGIGAスクール構想実現のため、導入済みであります学習用パソコンの設定業務委託料としまして120万円、教職</p>

員の働き方改革のため校務支援システム導入業務委託料295万8,000円は小学校、中学校管理費から科目を移動し、計上したところであります。18節負担金補助及び交付金では、児童生徒の学習意欲の喚起のための漢字検定など受検料助成金を増額し、119万6,000円を計上したところ です。その他の各機関等への負担金などを計上しております。94ページに移りまして、21節補償補填及び賠償金では新たに授業目的公衆送信補償金を計上、24節積立金は旧北中音更小学校を貸出ししていることによる基金への積立金75万2,000円を計上、その他の節は前年度の実績に応じて計上したところであります。91ページに戻っていただきまして、特定財源の内訳は町有建物施設貸付料のほか、記載のとおり見込んでおります。

94ページをお開きください。2目スクールバス管理費でございますが、本年度計上額は6,866万5,000円で、対前年度比433万1,000円の増であります。主な要因としましては、12節委託料において8路線の運行に関わる委託料の増額、それと新型コロナウイルス感染症拡大防止のための消毒作業委託料を計上したことによるものでございます。

続きまして、2項1目小学校費の学校管理費ですけれども、本年度5,442万3,000円で、前年度対比1,378万9,000円の減となっております。主な要因は、土幌小学校の通信ネットワーク工事が完了したためでございます。1節報酬から8節旅費までは会計年度任用職員2名分の人件費を、95ページ、11節役務費は土幌小学校のインターネット速度改善のためのプランの見直しなどによりまして170万9,000円の増、12節委託料では新たに閉校小学校の不用品処理委託料としまして140万円を計上、96ページに移りまして、13節使用料及び賃借料では小学校の体育館の照明をLED化するための照明器具賃借料136万円を計上したところであります。14節工事請負費では、小学校に設置したエアコンをより安全に使用するための電気工事、土幌小学校の体育館の壁面改修工事ほか、各学校の小規模改修工事を実施予定でありまして、合わせて400万円を計上しました。その他の節は、前年度の実績に応じて計上したところでございます。94ページに戻っていただきまして、特定財源の内訳は愛のまち建設基金繰入金ほか、記載のとおり見込んでおります。

96ページに戻っていただきまして、2目教育振興費は、本年度5,623万円で、前年度対比1,374万8,000円の減で、主な要因はGIGAスクール構想実現のための教育用パソコン導入が完了したことによるものでございます。1節報酬から8節旅費までは、少人数学級のための町費採用教職員及び多人数学級解消等のための町費採用支援員の会計年度任用職員10名分の人件費を計上しております。なお、4節共済費では、先ほど説明しました町費採用教職員2名が2年目となることから、各種保険料につきましては学校共済組合負担金とするものであり

ます。10節需用費では、平成30年度から始めた子育て支援目的に保護者が負担していた主要教科の学習に必要な問題集や資料集の一部として外国語学習等の補助教材など公費負担するための225万円などを含めて全体で434万円を計上したところであります。97ページに移りまして、12節委託料では肢体不自由児学級児童の医療的ケアのための看護師派遣の経費302万8,000円を、13節使用料及び賃借料では国が令和6年までに一定の導入を検討しているデジタル教科書の使用料99万円を新たに計上したところであります。17節備品購入費は、前年度同様、各学校の図書や教育教材備品のほか、ICT教育機器の更新等経費を合わせまして415万5,000円を計上しております。18節負担金補助及び交付金では、都市小学校交流事業としまして土幌、中士幌小学校の児童と美濃市児童の相互交流事業について、コロナ禍の中、参加人数、期間等を縮小しての開催経費、また上居辺小学校児童が千葉県鎌ヶ谷市への訪問及び受入れを行う経費などを含め、全体で512万6,000円を計上しました。その他の節は、前年度実績に応じて計上したところであります。96ページに戻りまして、特定財源の内訳は教育支援体制整備費補助金など、記載のとおり見込んでおります。

続きまして、3項1目中学校費の学校管理費は、本年度4,901万3,000円で、前年度対比803万4,000円の増であります。主な要因は、前年度から3か年で計画をしていた校舎屋上の防水シート更新工事を前倒しして実施しようとするためのものがございます。11節役務費は小学校と同様にインターネットの速度改善のため、プランの見直しなどによりまして151万4,000円の増、98ページに移りまして、12節委託料は体育館のワックスがけを含む特別清掃委託料97万6,000円など計上、13節使用料及び賃借料は、小学校費でも説明しておりますが、体育館の照明をLED化するための照明器具賃借料63万4,000円を計上しております。14節工事請負費では、先ほど申し上げたとおり、校舎屋根の防水シートの老朽化によりまして更新工事を2,700万円計上、その他の節は前年度の実績に応じまして計上したところであります。97ページに戻りまして、特定財源の内訳は愛のまち建設基金繰入金など、記載のとおり見込んでいるところであります。

98ページに戻っていただきまして、2目教育振興費は、本年度3,486万9,000円で、前年度対比344万2,000円の増となっております。主な要因は、中学校の町費採用教職員を2名から3名に増員するためによるものがございます。1節報酬から99ページに移りまして8節旅費までは、特別支援学級在籍生徒の支援などのため町費採用教職員の会計年度任用職員3名分の人件費を計上、なお4節共済費では、小学校費でも説明しましたが、町費採用教職員2名が2年目となることから、各種保険料につきましては学校共済組合負担金とするものであります。13節使用料及び賃借料は小学校費と同様にデジタル教科書使用料

47万1,000円を新たに計上しました。17節備品購入費は、前年度同様、図書購入費のほか、教育教材、楽器購入費等となっております。全体で436万5,000円を計上し、対前年度比576万円の減となりますが、教育用パソコンの導入が完了したことによるものでございます。18節負担金補助及び交付金は、近年の中学生の活躍が目覚ましく、全国、全道競技大会の参加助成金等を計上し、19節扶助費では就学援助費と特別支援教育生徒就学奨励費の対象が増える見込みで対前年度比22万6,000円増の465万9,000円を計上、その他の節につきましては前年度実績に応じて計上しております。98ページに戻りまして、特定財源の内訳は愛のまち建設基金繰入金など、記載のとおり見込んでおります。

以上で説明を終わります。

加 藤
委 員 長
藤井高校
事 務 長

士幌高等学校事務長。

高等学校事務長、藤井からご説明いたします。

100ページをお開き願います。10款4項1目学校管理費ですが、予算額6,626万6,000円で、前年度対比1,332万7,000円の減となっております。主な要因としまして、校内通信ネットワーク等整備工事の完了によるものです。1節報酬は会計年度任用職員1名分を計上、2節給料は一般職員3名分を計上、3節職員手当等及び4節共済費は一般職員3名分及び会計年度任用職員分を計上しております。8節旅費は、職員の普通旅費と会計年度任用職員の通勤手当を計上しております。10節需用費から11節役務費までは、前年度の実績により計上しております。101ページに移りまして、12節委託料ですが、前年度対比58万3,000円の増となっております。主な要因は、産業廃棄物処理委託料に低濃度PCB廃棄物の処理委託を計上しております。13節使用料及び賃借料は、校舎照明器具のLED化に係るレンタル料を計上しております。前年度対比192万6,000円の増となっております。14節工事請負費は、前年度比1,389万2,000円の減で、冒頭に説明しました工事の完了によるものが主な要因となっております。15節原材料費は、ほぼ前年度同額となっております。17節備品購入費は、学習支援教材等の購入に前年度対比で16万1,000円増の35万円を計上しております。18節負担金補助及び交付金は、ほぼ前年度と同額を計上しております。特定財源ですが、100ページに戻っていただきまして、教職員住宅貸付料260万2,000円、愛のまち建設基金繰入金914万5,000円、その他は記載のとおりです。

102ページに移りまして、2目教育振興費ですが、予算額3億1,157万8,000円で、前年度対比318万円の減となっております。主な要因は、教職員の異動に伴う人件費の減によるものです。1節報酬は、会計年度任用職員、前年度同額を計上しております。2節給料は一般職員27

名分を計上、3節職員手当等及び4節共済費は一般職員27名及び会計年度任用職員分を計上しております。7節報償費から10節需用費は、前年度とほぼ同額となっております。11節役務費は、教職員の事務処理負担の軽減を目的とした校務支援システムの導入に係る手数料に4万円を計上しております。なお、同システムに関しましては、12節委託料でネットワーク設定委託料として24万2,000円、103ページの13節使用料及び賃借料でシステム使用料として18万9,000円をそれぞれ計上しております。その他は、前年度とほぼ同額となっております。12節委託料は、国際人材育成推進事業では一昨年度に一般財団法人自治体国際化協会のモデル事業として採択を受け、本校生徒とキルギス国立農業大学附属農業技術カレッジとの交流事業に係る委託料として350万円、令和2年度に導入した1人1台端末の運用保守委託料に66万円を計上、校務支援システムに関しましては11節役務費で説明しておりますので、省略します。103ページに移りまして、13節使用料及び賃借料は前年度対比196万7,000円の増で、主な要因は102ページの12節委託料でも説明しております1人1台端末に係るソフト使用料に17万9,000円及び11節で説明しました校務支援システムに係る使用料をそれぞれ計上し、その他はほぼ前年同額となっております。15節ですが、原材料費の本年度の計上はなくなりましたので、計上しておりません。17節備品購入費は、体育関係備品と教員用指導書等の予算を計上しております。18節負担金補助及び交付金につきましては、前年度比81万3,000円の減となっております。主な要因は、土幌高校創立70周年記念事業に係る助成金によるものですが、本事業はコロナウイルス感染症の影響により令和2年度は中止となっております。20節貸付金につきましては、帯広信用金庫への修学資金預託金、対象学生数の増により160万円の増となっております。21節補償補填及び賠償金は、前年度とほぼ同額を計上しております。特定財源ですが、102ページに戻っていただきまして、授業料1,627万5,000円、愛のまち建設基金繰入金で1,695万円、自治体国際協力促進事業助成金で300万円、その他は記載のとおりとなっております。

103ページに移りまして、3目高原寮管理運営費ですが、予算額303万円で、前年度対比29万3,000円の減となっております。10節需用費は、燃料費の前年度実績により事業費全体で前年度比25万4,000円の減、246万4,000円を計上しております。11節役務費から104ページの13節使用料及び賃借料につきましては、前年度の実績により計上しております。103ページに戻りまして、特定財源ですが、高原寮使用料22万円を計上しております。

104ページに戻りまして、4目農場管理費ですが、予算額4,905万6,000円で、前年度比702万3,000円の減となっております。主な要因は、一般職員1名の減及び備品購入費の農場プレハブ冷蔵庫の購入完了に

よるものです。1節報酬は会計年度任用職員4名分を、2節給料では一般職員分を計上しております。3節職員手当等及び共済費は、一般職員及び会計年度任用職員分を計上しております。8節旅費は、会計年度任用職員の通勤手当を計上しております。10節需用費ですが、燃料費の前年度実績と修繕料の堆肥場コンクリート、それから農場管理室トイレの修繕の完了により、需用費全体で140万5,000円の減となっております。105ページに移りまして、11節役務費は全体で62万6,000円の減となっております。主な要因は、グローバルGAP認証審査手数料の減額によるものです。こちらは、審査の際に2回の審査料が1回に減ったためであります。12節委託料ですが、委託料全体で51万円の増となっております。主な要因としまして、産業廃棄物の処理費用及び農業マーケティング実践学習委託料のうち、志ブックの更新によるものです。14節工事請負費は、農場管理室屋根の塗装工事に110万円を計上しております。15節原材料費は、新商品の完成により、前年度比37万7,000円の減となっております。17節備品購入費は、前年度比170万円の減となっております。主な要因は、冒頭に説明しましたプレハブ冷蔵庫の購入完了によるものです。26節公課費は、対象車両3台に係る予算を計上しております。104ページに戻っていただきまして、特定財源につきましては高等学校生産物売払収入として1,340万円、愛のまち建設基金繰入金130万円を計上しております。

106ページに移りまして、5目食品加工施設費ですが、予算額3,559万4,000円で、前年度対比234万9,000円の減となっております。2節給料から4節共済費は、一般職員2名及び会計年度任用職員1名分を計上しております。10節需用費ですが、消耗品から修繕まで前年度の実績により、需用費全体で前年度比200万1,000円の減となっております。11節役務費は、隔年で実施しております排水処理施設の汚泥処理計量器の検定の実施年度ではないため、役務費全体で14万6,000円の減となっております。106ページから107ページの12節委託料では、北海道HACCPの認証取得サポート契約ですが、直営による日常的な管理が可能となったことから、サポートの年間契約を年1回のサポートと、それから害虫駆除等の総合衛生管理、これは年契約になるのですけれども、こちらに分けたため、委託料全体で26万2,000円の減となっております。13節使用料及び賃借料、15節原材料費は、ほぼ前年度同額となっております。17節備品購入費では、シーベリー収穫用備品購入のための予算を計上しております。18節負担金補助及び交付金は、前年度同額を計上しております。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
小野寺

教育課長。

引き続き教育課長、小野寺から5項1目社会教育総務費をご説明い

教育課長 たします。

本年度は3,288万円で、前年度対比24万8,000円の増で、主な要因は人事異動による人件費の増額によるものでございます。1節報酬は社会教育委員と会計年度任用職員1名分の人件費を、2節給料から4節共済費までは職員2名と会計年度任用職員1名分の人件費等を計上しております。108ページに移りまして、7節報償費及び10節需用費では、4目公民館費からの科目の移動及び5目図書館費の新設により、移動計上したものでございます。12節委託料では、放課後児童の居場所の確保と様々な体験活動の提供のため、子ども交流センターで行われております放課後子ども教室実施委託料447万6,000円を含む534万3,000円を計上しております。109ページに移りまして、18節負担金補助及び交付金では大雪山麓アイヌ日本遺産推進協議会負担金としまして2万円を新たに計上したところでございます。その他の節は、前年度実績に応じてそれぞれ記載のとおり計上したところであります。107ページに戻りまして、特定財源の内訳は学校を核とした地域力強化プラン事業補助金ほか、記載のとおり見込んでおります。

109ページに戻っていただきまして、2目生涯学習推進費は本年度736万6,000円で、前年度対比351万3,000円の減となっております。主な要因は、5目図書館費の新設による科目移動によるもので、その他の節は前年度の実績に応じてそれぞれ計上したところであります。特定財源の内訳は、学校を核とした地域力強化プラン事業補助金を見込んだところでございます。

110ページに移りまして、3目公民館費は本年度1,301万9,000円で、前年度対比100万4,000円の減でございます。主な要因は、同じく5目図書館費の新設による科目移動によるものでございます。1節報酬から13節使用料及び賃借料までと18節負担金補助及び交付金は前年度の実績に応じて計上しております。17節備品購入費は、各公民館に移動式スロープ購入費としまして126万円を計上しております。特定財源の内訳は、中土幌公民館太陽光発電電力売払収入ほか、記載のとおり見込んでおります。

次に、111ページに移りまして、4目総合研修センター管理費は本年度5,495万3,000円で、前年度対比337万8,000円の減となっております。主な要因は、こちらにつきましても5目図書館費の新設による科目移動によるものでございます。12節委託料では体育館のワックス塗装が終了したことにより85万円の減、13節使用料及び賃借料では施設の照明をLED化するための照明器具賃借料360万円を計上、その他の節につきましても前年度の実績に応じてそれぞれ計上したところであります。特定財源の内訳は、総合研修センター使用料など、記載のとおり見込んでおります。

次に、本年度より5目図書館費をまとめて計上しております。本年

度は695万円で、前年度とほぼ同額でございます。1節報酬から4節共済費までは会計年度任用職員1名分の人件費等を、その他の節は前年度の実績に応じましてそれぞれ計上したところであります。特定財源の内訳は、愛のまち建設基金繰入金を見込んでおります。

113ページをお開きください。6項1目保健体育総務費は、本年度1,189万4,000円で、前年度対比185万2,000円の減でございます。主な要因は、人事異動に伴う人件費の減でございます。1節報酬はスポーツ推進委員の報酬を、2節給料から4節共済費までは職員1名分の人件費を計上しております。7節報償費は各種スポーツ大会等の審判謝礼やスポーツ賞等の表彰物品の購入費などを計上、12節委託料ではトレーニング室、研修室で行われていますフィットネス事業などのために301万3,000円を計上、18節負担金補助及び交付金はスポーツ少年団活動助成金120万円、各競技大会派遣助成100万円を合わせて全体で305万6,000円を計上し、その他の節は前年度の実績に応じ、それぞれ計上したところであります。特定財源の内訳は、愛のまち建設基金繰入金など、記載のとおり見込んでおります。

114ページをお開きください。2目体育施設費は、本年度2,314万1,000円で、前年度対比74万8,000円の減となっており、おおむね前年度同額を見込んだところでございます。10節需用費、消耗品では12節の委託料の体育施設管理委託料からの組替えで28万円の増、14節工事請負費では町民プールの消毒槽の撤去、水飲み台の更新など及びれいわパークゴルフ場水飲み台設置と合わせまして235万2,000円を計上したところでございます。その他の節は、前年度の実績に応じましてそれぞれ計上したところであります。特定財源の内訳は、愛のまち建設基金繰入金など、記載のとおり見込んでおります。

以上で説明を終わりにします。

加 藤
委 員 長
齋藤給食
センター
所 長

給食センター所長。

学校給食センター所長、齋藤よりご説明いたします。

114ページ、3目学校給食センター管理費は、前年度対比75万5,000円増額の本年度予算額7,853万5,000円を計上したところでございます。115ページを御覧ください。10節需用費につきまして、修繕料では本年度施設修繕のため83万5,000円増額の168万円を計上しております。14節工事請負費では、中土幌小学校配膳室改修工事費用としまして126万4,000円を計上しました。そのほかの節につきましては、おおむね前年同様の額を計上しております。特定財源としましては、114ページに戻っていただきまして、学校給食費2,243万円のほか、記載のとおり見込んでいるところでございます。

以上で説明を終わります。

加 藤

総務企画課長。

委員長 亀野総務 企画課長	<p>総務企画課長、亀野よりご説明を申し上げます。</p> <p>116ページを御覧願います。11款1項公債費、1目元金は、長期債に係る償還金で、前年度対比2,469万9,000円増の7億1,132万5,000円を計上したところでございます。増額の主な要因は、道路整備など18事業に係る起債の償還が始まることによるもので、特定財源として負担金、減債基金繰入金ほか、合わせて2億4,362万5,000円を充当するものでございます</p> <p>次に、2目利子は、長期債の償還利子及び一時借入金の利子で、前年度対比585万3,000円減の4,111万8,000円を計上したところでございます。減額の主な要因は、14事業に係る起債の償還が終了したことによるものでございます。特定財源といたしましては、負担金、使用料ほか、合わせて1,248万1,000円を充当するものでございます。</p> <p>次に、117ページに移りまして、12款1項1目土地取得費は、公有財産購入費用として前年度同額の10万円を計上したところでございます。</p> <p>次に、13款1項1目予備費は、不測事態での支出に充てるため、前年度と同額の1,000万円を計上したところでございます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
質疑 加藤 委員長 大西委員	<p>説明が終わりましたので、教育費、公債費、諸支出金、予備費について質疑を行います。ありませんか。3番、大西委員。</p> <p>97ページの18節の都市小学校交流活動助成金なのですが、昨年もコロナでこれがなくなったのですけれども、今年もどうか分かりませんけれども、交流できればいいのですけれども、もし万が一できないときには、6年生ですから、5年生ならあと1年待てということもできるけれども、できないので、美濃市の小学校に土幌の産物の芋なのか、しほろ牛なのか、そういうのを送って、土幌のPRのために向こうの学校に何かそういうものをこの予算の中から交流のあかしとして送るようなことできないのですか。</p>
加藤 委員長 堀江 教育長	<p>教育長。</p> <p>大西委員おっしゃるとおり、コロナ対策で本年度の事業は中止しております。また、次年度についてもちょっとどうなるか分からない状況でございます。今美濃市とも担当レベルで打合せをしているところですが、一応予算は組ませていただいてということなのですが、人数を減らす案とか、いろんなことが検討されております。大西委員おっしゃるように物産を送ったりということも今後町長と協議しながら決めていきたいと思いますが、私はいません。</p>
加藤 委員長	<p>10番、森本委員。</p>

森本委員	95ページ、最下段にあります12節委託料の中の閉校小学校不用品処理委託料でありますけれども、近年閉校した4校についてのものであるのか、またスケジュールのようなものも分かれば教えていただきたいのですけれども。
加藤委員長 小野寺教育課長	教育課長。 今年度もこの委託料につきましては職員のほうで相当努力してやったわけですが、学校にあります備品は大量でございまして、何とか北中以外の4校の小学校の学校内の備品を整理をしていきたいということで、早い段階で契約といいますか、できれば進めていきたいというふうに思っております。 以上です。
加藤委員長 森本委員	10番、森本委員。 実は、私の住んでいる地区の小学校でありますけれども、閉校後に不用品のもので使えるものについてはほか学校の方であったり取りに来ているのです。そういうときに、閉校したばかりだと地域の方たちは誰か大人数で来ていると物すごく気にされている方多いのです。恐らくあの地区の方も自分の地区の小学校跡地ということで愛着あって、そこに人が行っているとどうやら気になるようなのです。できればそういうスケジュール等を事前に公民館等を通じて、誰かがどういうスケジュールで来るのだというのが分かっているようにできれば検討して実施していただきたいと思います。
加藤委員長 小野寺教育課長	教育課長。 今森本委員言われたとおり、スケジュール感を持って、各学校ごと日程割りをできるように努力していきたいというふうに思っております。
加藤委員長	そのほかありませんか。 (なし)
加藤委員長	なければ、これで教育費、公債費、諸支出金、予備費の質疑を終わります。 ここで2時30分まで休憩とします。
加藤委員長	午後 2時18分 休憩 午後 2時30分 再開 休憩を解き、委員会を再開します。 次に、歳入、債務負担行為、地方債、給与費等について説明を求め

説明

藤内町民課長 ます。町民課長。

歳入、1款町税につきまして町民課長、藤内より説明をいたします。
16ページをお開きください。1項町民税については、新型コロナウイルス感染症の影響から、1目個人町民税は予算額4億3,290万円で、前年度対比2,000万円を減額、2目法人町民税は予算額4,000万1,000円で、前年度対比500万円を減額しています。

2項1目固定資産税は、予算額5億2,050万円で、前年度実績等を考慮し、前年度と同額を計上しています。

2目国有資産等所在市町村交付金は、予算額5万円、前年度と同額を計上しています。

3項1目軽自動車税は、予算額1,900万1,000円で、前年度対比100万円を増額するもので、前年度実績等を考慮し、増額しています。

2目環境性能割は、予算額72万円、前年度対比8万5,000円を増額するもので、これも前年度実績等を考慮し、増額しています。

17ページ、4項1目市町村たばこ税は、予算額4,000万円で、近年の喫煙環境の変化及びたばこ税の増加による価格の高騰により禁煙志向が強まり、前年度対比1,400万円を減額しています。

5項1目入湯税は、予算額100万円で、新型コロナウイルス感染症の影響から前年度対比130万円を減額しています。

以上で1款町税に係る収入について説明を終わります。

加藤委員長 総務企画課長。

亀野総務企画課長 総務企画課長、亀野よりご説明申し上げます。

特定財源につきましては歳出予算でそれぞれ説明をさせていただきますので、一般財源のみご説明をいたします。

それでは、2款1項1目自動車重量譲与税は前年度同額の1億2,000万円を計上、2項1目地方揮発油譲与税は譲与額の実績を勘案し、前年度対比700万円減の4,000万円を計上、次に3款1項1目利子割交付金は交付額の実績を勘案し、前年度対比10万円減の80万円を計上しております。

次に、18ページをお開き願います。4款1項1目配当割交付金及びその下の5款1項1目株式等譲渡所得割交付金は、前年度と同額を計上させていただきます。

次に、6款1項1目法人事業税交付金は、令和元年度税制改正に伴い、地方法人特別譲与税制度の廃止に伴う市町村分の法人住民税法人税割の減収分の補填措置として法人事業税の一部を道府県から市町村に交付する制度が創設され、新たに450万円を計上しているところでございます。

次に、7款1項1目地方消費税交付金は、交付額の実績を勘案し、前年度同額の1億3,000万円を計上したところでございます。

次に、8款1項1目環境性能割交付金は、交付額の実績を勘案し、前年度対比900万円減の1,100万円を計上いたします。

次に、19ページに移りまして、上段の9款1項1目地方特例交付金は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国では様々な経済対策、支援策が実施されていることから、減収補填分が増えることが想定されますので、前年度対比500万円増の600万円を計上したところでございます。

次に、10款1項1目地方交付税は、新型コロナウイルスの影響により地方税が減収となる中、国の地方財政対策等を踏まえ、前年度同額の26億3,000万円を計上したところでございます。

次に、28ページをお開きを願います。中段になりますが、17款1項1目一般寄附金は科目存置でございます。

2目指定寄附金は、前年度対比1億9,100万円増の2億5,100万円を計上したところでございます。その内訳は、ふるさと寄附金を前年度対比1億9,000万円増の2億5,000万円、新たに一般分として100万円を計上したところでございます。

次に、18款1項3目財政調整基金繰入金は、前年度と同額の2億円を計上いたします。

29ページに移りまして、19款1項1目繰越金は、前年度予算の執行状況を勘案し、前年度と同額の2,000万円を計上したところでございます。

次に、31ページを御覧願います。20款5項5目2節雑入の上から3行目、備荒資金組合納付還付金ですが、財源不足を補うため、前年度対比6,600万円減の3億1,000万円を一般財源として計上したところでございます。

次に、32ページをお開きを願います。21款1項町債ですが、一般財源の町債は、1目の臨時財政対策債で前年度対比1,850万円増の1億5,600万円を計上したところでございます。

次に、9ページを御覧願います。第2表、債務負担行為は、2つの事項について債務を負担しようとするもので、その期間と限度額につきましてはそれぞれ記載のとおりとなっております。

次に、10ページをお開きを願います。第3表、地方債ですが、起債の目的はそれぞれの事業を実施する際に財源として充当するもので、限度額は充当可能額を算出、計上し、起債の方法、利率、償還の方法は11ページにかけて記載のとおりとなっております。

続きまして、118ページを御覧願います。給与費明細書ですが、特別職の理事者、議員、その他の委員に係る給与費、共済費でありまして、本年度の予算額は1億767万1,000円で、前年度対比394万8,000円の減額となっております。

次に、119ページを御覧願います。ここでは119ページから120ペー

		<p>ジにかけて一般職、会計年度任用職員に係る給与費、共済費を表に記載しており、本年度予算額は13億9,852万8,000円で、前年度対比2,269万3,000円の減となり、各種手当増減の内訳につきましては記載のとおりとなっております。</p> <p>なお、121ページから125ページにかけては、本町の給与に関わる支給内容及び国との制度比較などを参考資料として記載してございますので、ご参照のほど願います。</p> <p>続いて、126ページから129ページには債務負担行為の支出予定額に関する調べを掲載してございますので、ご参照のほどよろしく願いをいたします。</p> <p>それでは次に、130ページを御覧願います。地方債の現在高の見込みに関する調書では、令和2年度末現在高見込額は69億3,649万4,000円で、令和3年度中の起債見込額は4億7,580万円、元金償還見込額は7億1,132万5,000円で、令和3年度末現在高見込額は67億96万9,000円となっております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
質疑	加藤委員長 伊藤委員	<p>説明が終わりましたので、歳入全般について質疑を行います。ありませんか。5番、伊藤委員。</p>
		<p>28ページ、18款の繰入金ですけれども、今年度の総体予算は5.1%減、あるいは一般会計では1.4%減ということで、財務の健全化と効率化に努めた結果であると思いますけれども、しかし活気あるまちづくりには大胆な投資も必要でないかと考えます。その中で、今回繰入れした2億5,000万円、ここは例年ですと大体7,000万円前後で推移してきたのですけれども、約3.5倍の運用について、何か新規事業があるのか、あるいは重点的な活用があるのかお聞きしたいと思います。</p>
	加藤委員長 亀野総務企画課長	<p>総務企画課長。</p> <p>総務企画課長、亀野よりお答えをいたします。</p> <p>今回の部分につきましては、ふるさと納税が大半を占めておりまして、その分につきましてはご説明の中で2億5,000万円ということでご説明をしている中で、その分につきましては、寄附額にもよりますけれども、様々なものに対して、各事業に対して充当していくような流れになっていくと思います。</p>
	加藤委員長 伊藤委員	<p>5番、伊藤委員。</p> <p>それで、結局大胆な投資になっているので、何か新規の事業だとか、ここに力入れたとか、そういうところをちょっと聞きたいなと思っただけなので、もしあれば。</p>
	加藤委員長	<p>財政担当主査。</p>

黒田財政 総務企画課財政担当、黒田よりご説明申し上げます。

担当主査 一応予算編成の中で、前回の12月の定例会でも一般質問の中で町長からもご説明ありましたが、予算編成の中で確定した事業予算への財源充当をしているといったところと、併せて寄附者の指定のありました寄附額も踏まえながら今回財源充当を行っているものであります。大きく今回充当させていただきましたのは、基金条例の中にあります協働のまちづくりに係る基盤づくりに関する事業、こちらの中で老人福祉施設費、繰出金になるのですけれども、特別養護老人ホームほほえみに対しまして今回空調設備の工事請負費がございましたので、こちら大きく6,165万円を繰り出ししている状況もございますし、あと学校施設改修等、そちら中学校費におきますと屋上防水工事、こちらに2,700万円と、大きな金額でいきますと大体こういったところになりますが、各種事業、これまでの寄附額も踏まえまして9事業に振り分けをさせてもらっているといったような状況でございます。

加 藤 以上で説明を終わります。

委員 ほか質問ありませんか。

長 (な し)

加 藤 ないようですので、歳入、債務負担行為、地方債、給与費等の質疑

委員 を終了します。

ここで管理職全員が着席するため、暫時休憩します。

午後 2時43分 休憩

午後 2時45分 再開

加 藤 休憩を解き、委員会を再開します。

委員 一般会計について款ごとの説明並びに質疑が終わりました。

ここで歳入歳出全般を通じて質疑を行います。ありませんか。

(な し)

加 藤 質疑がなければ、質疑を終わり、討論を行います。

委員 (な し)

加 藤 討論なしと認め、これから採決します。

委員 本案は、原案のとおり可決すべきものと決定することにご異議ありませんか。

(異 議 な し)

加 藤 異議なしと認めます。

委員 したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本日の予算審査特別委員会はこれにて散会いたします。

明日午後1時15分より再開します。
お疲れさまでした。

(午後 2時46分)